

邑久消防 20 年のあゆみ



邑久消防組合消防本部



発足20年を迎えて

管理者 **木村恵昭**

邑久消防組合発足20周年の記念すべき年にあたり、関係各位のご支援により着実に機能を進展させ、鋭意、消防・救急活動等に従事できることを共に誇りに感じ、心から敬意と感謝を捧げたいと存じます。

また、この度はこの輝かしい年にあわせ、一級河川「千町川」の河川改修工事に伴う庁舎移転事業も、県当局を始め、関係各位の特段のご配慮により、近代的消防庁舎が完成できますことに対し、重ねてお礼申し上げます。

消防の任務は、住民の生命・身体・財産を保護するとともに、水・火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減することをもって、社会・公共の福祉に資することにあります。

ここに20周年記念の年を契機に任務の重大さを再確認し、生活環境等の諸情勢の変革にも果敢に対応し、地域・社会の期待と信頼に応え、住民生活安定になお一層の努力を傾注する所存でございます。

今後とも、関係各位の一層のご努力・ご指導のほど賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



記念誌発刊にあたり

消防長 **出井吉彦**

邑久消防組合発足20周年を迎え、改めて先輩各位の熱意とご労苦に対し、衷心より敬意を捧げるとともに、邑久消防の歴史と現況を収録した20周年記念誌が関係各位のご協力とご支援により発刊できますことに対し心より御礼を申し上げます。

ご承知のとおり邑久消防組合は、昭和49年4月岡山県知事認可により組合消防として設立、昭和50年5月本部・署庁舎、昭和52年10月牛窓分駐所庁舎、昭和53年10月長船分駐所庁舎が建設され、救急業務、消防業務等、地域住民の安全確保のため、たゆまぬ努力を重ねて参ったところでありますが、次第に変貌する地域環境の変化に対応すべく資器材の整備、職員の教育研修及び訓練等、体制強化に励んできたところでございます。

しかし近年我々組合消防を取り巻く情勢はきわめてきびしく都市化の進展、社会経済の変化、又高齢化社会の移行に伴い災害の様相は複雑多様化の傾向にあります。

これに対応すべく、時代にマッチした庁舎の建設、消防力の充実強化を計り、効率的かつ効果的な消防行政推進を計るため、組合設立20周年を契機に決意を新たに全職員一丸となり研鑽、訓練に励んでまいり所存でございますので、関係各位のより一層のご支援ご指導を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。ごあいさつといたします。



■ 発足20年を迎えて	管理者 木村恵昭	
■ 記念誌発刊にあたり	消防長 出井吉彦	
■ 管内概況図	3
■ 邑久消防組合構成町の概要	牛窓町・邑久町・長船町	4
■ 組織	歴代管理者・議会議長・消防長	6
■ 本部・署職員配置表	7
■ 庁舎紹介・職員紹介	本部・本署・牛窓・長船分駐所	8
■ 邑久消防組合20年のあゆみ	13
【沿革】	14
【総務編】	職員数・平均年齢推移 歳出決算額の推移	25
【予防編】	防火対象物数の推移 危険物施設の推移	26
【消防編】	火災発生件数の推移 町別火災発生件数の推移	28
	火災種別別火災発生件数の推移 出火原因別発生状況の推移	29
	20年間の出火原因 救急出場件数及び搬送人員の推移	30
	事故種別別救急出動件数 救助活動件数及び救助人員の推移	31
【その他編】	各防火クラブ結成状況一覧表	32

邑久消防管内概況図



邑久消防組合の概況

当組合は岡山県の南東部（東経134°0′5″ / 北緯34°39′）に位置する牛窓町・邑久町・長船町で構成されている。

西に県下三大河川の一である吉井川をへだてて岡山市に隣接し、東・南は瀬戸内海に面しており、北は備前市に接している。東西20.5km 南北15.5km管内総面積は125.26km²である。地勢は管内の中央部から北西にかけてはおおむね平野部であり東部は標高200m前後の山々が連なり、南へ丘陵を形成しながら瀬戸内海に至っている。年間降雨量も1,200mm内外という寡雨地帯であり、気温も年平均14.5℃内外で四季を通じて気候の温暖な地域である。



日本のエーゲ海



牛窓町

牛窓町は、岡山県の東南部に位置し、町の東と南は瀬戸内海に面し西は岡山市、北は邑久町と標高50～100mの小山脈をもって接している。

昭和29年10月1日、牛窓町、鹿忍町、長浜村の3町が合併し、新しく牛窓町として発足、翌30年3月に旧大宮村の一部千手地区を編入し今日に至っている。

美しい自然に恵まれた牛窓町は、温暖寡雨の気候が地中海のそれに似ていることから「日本のエーゲ海」と呼ばれ丘陵には南国ムードいっぱいのオリーブ園がひろがり、起伏に富んだ海岸線と点在する島々が織りなす風景は、瀬戸内海随一の自然美を誇っている。

「万葉集」にも牛窓を詠んだ歌があり、古くから開けた町で、内海航路の要衝であり江戸幕府参勤交代や朝鮮使節が寄港する栄町として栄えた。

そして現在、牛窓町はこの恵まれた自然環境とオリーブが取り持つ縁で、ギリシャ国のミティリニ市と国際友好都市縁組を締結し国際化に取り組むとともに、豊かな自然と多様な産業、さらに歴史的文化を最大限生かした、豊かで潤いのある町づくりが進められている。



夢あふれる 人形劇の町



邑久町

邑久町は、岡山県の東南部に位置し、東は瀬戸内海に面し、西から南西にかけては岡山市、北は長船町・備前市、南は牛窓町に接しています。

昭和27年に邑久、福田、今城、豊原、本庄、笠加の6ヶ村が合併して邑久町が成立。昭和29年に玉津村、昭和33年に裳掛村を編入して現在に至っている。

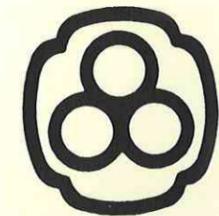
邑久町は、山あり川ありと豊かな自然に恵まれた美しい町です。名所旧跡も数多く、特に虫明瀬戸のあけぼのには有名で、古くから詩や歌に詠まれています。

また、大正時代に一世を風靡した画家の竹久夢二のふる里として、そして、竹田喜之助ゆかりの人形劇の町としても有名です。

気候は、温暖寡雨の瀬戸内型の気候で、産業は米・養殖かきを中心とした農漁業が主体だが、近年は商工業も盛んになり、岡山市の東隣という交通利便の良さから、都市近郊型の町として発展を続けています。町を東西に縦断する岡山ブルーラインは、産業振興観光開発などに大きな可能性を秘めており、スポーツ・レクリエーション施設など若者が定住できる魅力ある町づくりと、居住環境の整備を計画的に進め、21世紀へ向けて大きく躍進しています。



刀剣のふるさと



長船町

長船町は、岡山県の東南部に位置し、東北部は備前市、南部は邑久町、西部は吉井川の清流を境に岡山市、赤磐郡瀬戸町に接しています。

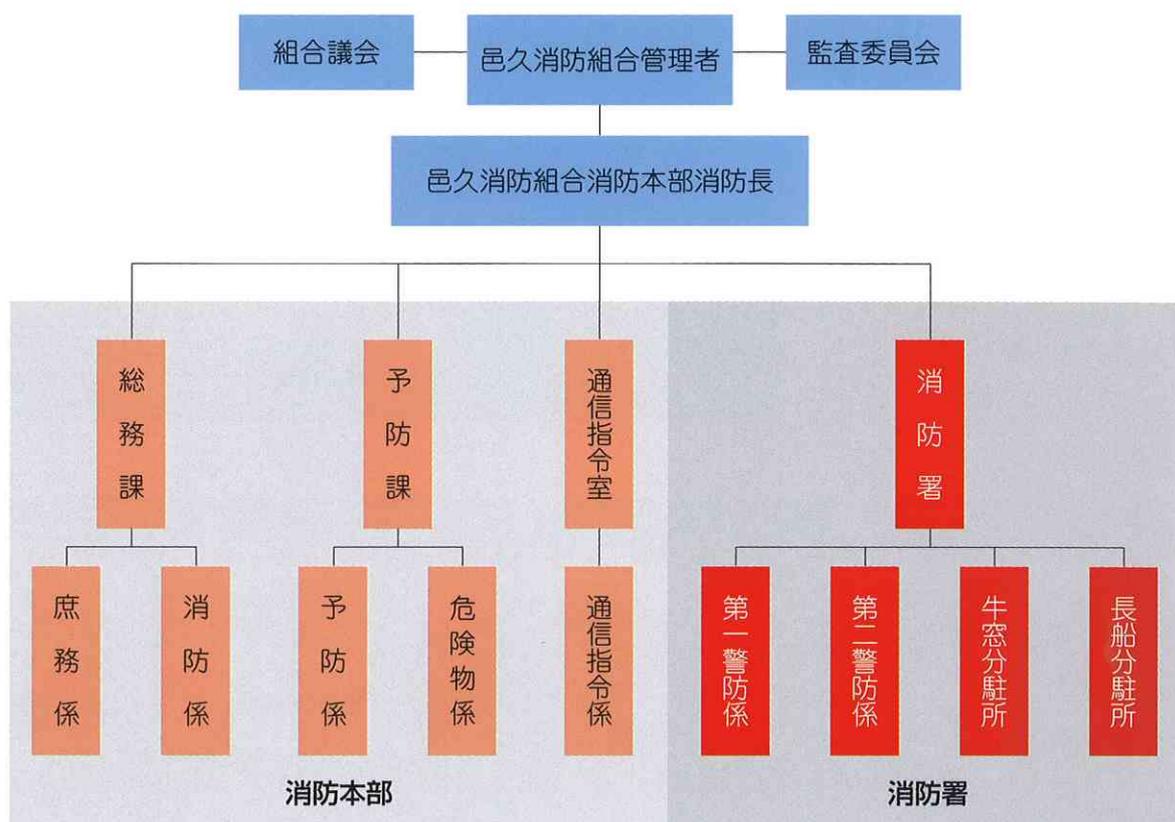
昭和30年3月30日、美和村、国府村、行幸村の3村が合併し、新しく長船町として発足し今日に至っています。

「鍛冶屋千軒打つ槌の音に…」と歌いつがれ、数多くの名工を輩出した「備前長船」の名は、古くから刀の産地として全国津々浦々までその名を知られていました。その歴史は古く吉井川の洪水による多大な被害を幾度か受けながらも、伝統の技と魂を今に受け継いできました。町内には、備前長船博物館をはじめ、福岡の史跡町並み、古墳、社寺など数々の貴重な文化遺産が残されており、当時が偲ばれます。

吉井川流域に広がる農地は肥沃で、豊富な水量に恵まれ作物の生産に適しており、最近では、農業基盤整備や大型機械の導入など、新しい時代に向けての農業に意欲的に取り組んでいます。

「うるおいと安らぎ、健康で文化的な地域づくり」を基調とし、バランスのとれた産業の育成のため、企業誘致を行い、また、快適で住みよい環境づくりのため、福祉、教育等の施設の充実を図り、21世紀に向けて、より豊かな理想社会をめざしています。

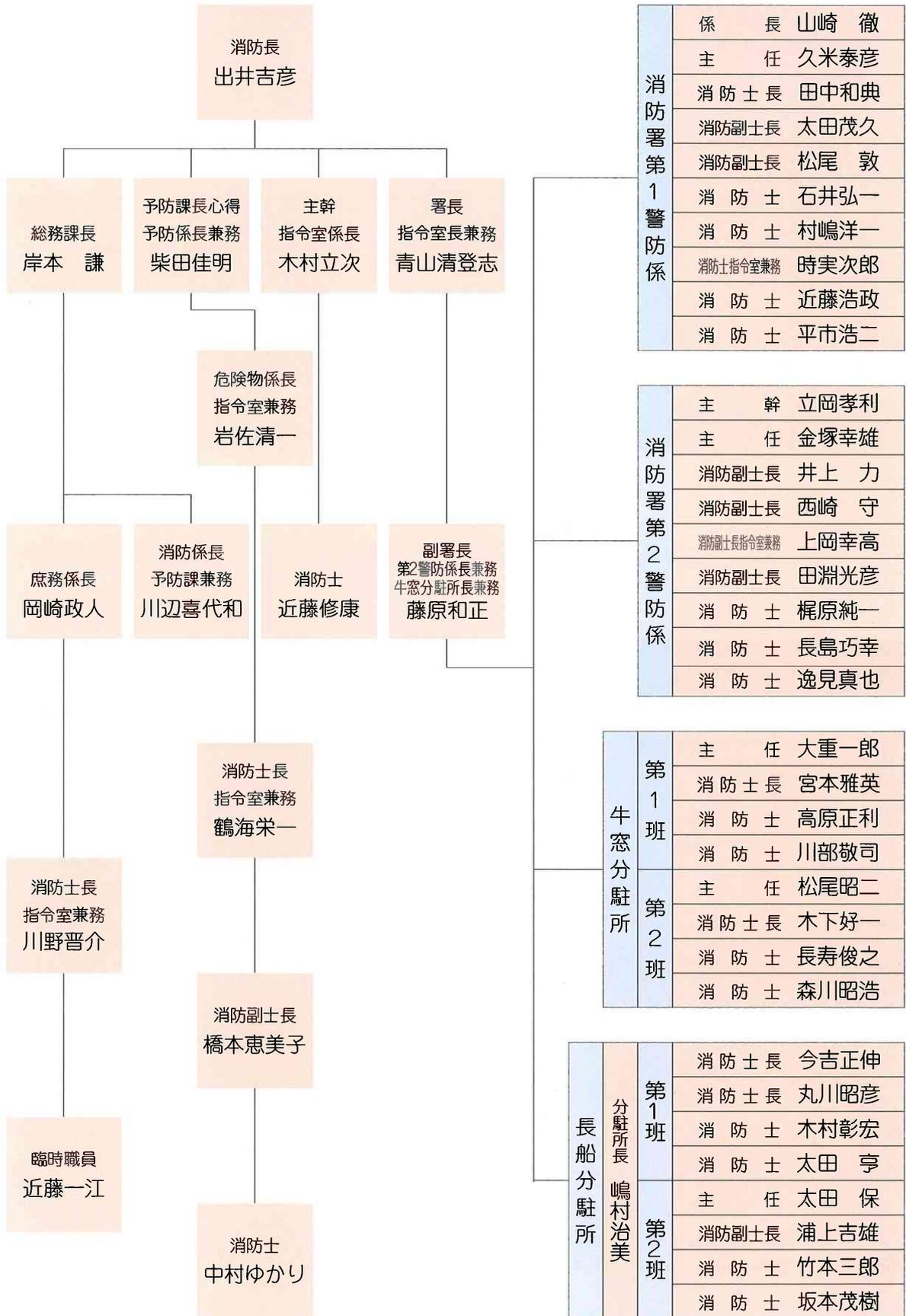
組織



歴代管理者・議会議長・消防長

	区分	氏名	就任期間	備考
歴代管理者	初代	嘉数郁衛	S49.4.1~S51.1.19	
	2代	木下友次	S51.1.20~S63.1.19	
	3代	木村恵昭	S63.1.20~(現在)	
歴代議会議長	初代	木下太嘉志	S49.4.11~S53.10.16	
	2代	福池勉	S53.12.25~S54.4.29	
	3代	寺田元徳	S54.8.6~S61.10.16	
	4代	高原輝雄	S62.2.3~H1.2.3	
	5代	為房俊昭	H1.2.3~H3.2.4	
	6代	赤木賢二	H3.2.4~H5.2.26	
	7代	青山定雄	H5.2.26~H7.2.28	
歴代消防長	初代	木下友次	S49.4.1~S50.12.9	署長兼任
	2代	木村美代司	S50.12.10~S54.1.12	署長兼任
	3代	木村恒作	S54.1.13~H3.3.31	専任
	4代	出井吉彦	H3.4.1~(現在)	専任

本部・署職員配置表（平成6年4月現在）



消防署第1警防係	係長	山崎 徹
	主任	久米泰彦
	消防士長	田中和典
	消防副士長	太田茂久
	消防副士長	松尾 敦
	消防士	石井弘一
	消防士	村嶋洋一
	消防士指令室兼務	時実次郎
	消防士	近藤浩政
	消防士	平市浩二

消防署第2警防係	主幹	立岡孝利
	主任	金塚幸雄
	消防副士長	井上 力
	消防副士長	西崎 守
	消防副士長指令室兼務	上岡幸高
	消防副士長	田淵光彦
	消防士	梶原純一
	消防士	長島巧幸
消防士	逸見真也	

牛窓分駐所	第1班	主任	大重一郎
		消防士長	宮本雅英
		消防士	高原正利
	第2班	消防士	川部敬司
		主任	松尾昭二
		消防士長	木下好一
消防士	長寿俊之		
消防士	森川昭浩		

長船分駐所	分駐所長 嶋村治美	第1班	消防士長	今吉正伸
			消防士長	丸川昭彦
			消防士	木村彰宏
			消防士	太田 亨
	第2班	主任	太田 保	
		消防副士長	浦上吉雄	
		消防士	竹本三郎	
		消防士	坂本茂樹	

職員紹介



邑久消防組合消防本部

新庁舎紹介/外観



新庁舎

平成5年11月 敷地造成
平成6年 5月 庁舎着工
平成7年 3月 竣 工

名 称：邑久消防組合消防本部・署
邑久消防組合防災センター
所 在 地：邑久郡邑久町本庄1793-1
庁舎概要：構 造 鉄筋2階建
建築延面積 2,008.92m²
敷地面積 4,645.11m²

職員紹介



邑久消防署

見取図



職員紹介



牛窓分駐所

庁舎紹介/牛窓分駐所



名称：牛窓分駐所
所在地：邑久郡牛窓町牛窓6405-1
庁舎概要：構造 鉄筋2階建
建築延面積 182.99m²
敷地面積 341.25m²
昭和52年10月竣工

職員紹介



長船分駐所

庁舎紹介/長船分駐所



名称：長船分駐所
所在地：邑久郡長船町土師1175-2
庁舎概要：構造 鉄筋2階建
建築延面積 183.38m²
敷地面積 262.47m²
昭和53年10月竣工



**力一杯、
私たちの郷土を守ります!!**



20年の沿革



邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

- 昭和48年 7月 邑久消防組合設立協議会を設置
 (1973) 12月 邑久消防組合設置許可申請
- 昭和49年 4月 1日 邑久消防組合開庁式
 (1974) 邑久郡の牛窓町・邑久町・長船町3町で
 邑久消防組合を設立し消防職員15名でスタート

昭和48年
 10月 6日 第4次中東戦争始まる
 11月29日 熊本デパート火災

昭和49年
 8月30日 東京丸の内の三菱重
 エビルで爆弾爆発
 8人死亡 264人重軽傷
 12月18日 三菱石油水島製油所
 タンクから重油
 42,888キロリットル
 流出



- 5月 連絡車1台購入
 6月 1日 邑久消防本部・邑久消防署の業務開始

昭和50年
 2月26日 四日市市灯油タンク
 火災
 4月30日 30年にわたる
 ベトナム戦争が終結
 10月16日 中国自動車道
 落合⇄吹田間が開通

- 昭和50年 3月27日 日本損害保険協会より
 (1974) 救急車1台寄贈を受ける
- 3月31日 牛窓町オリーブ園 林野火災
 焼損面積40ha
 鎮火まで19時間を要す



邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

- 4月 1日 消防職員7名を採用し
総員22名となる
- 4月 1日 救急業務開始
- 4月24日 指令車購入
- 5月 邑久消防組合消防本部・消防署の
新庁舎が邑久町本庄に完成する
- 7月 8日 消防ポンプ自動車1台購入
- 7月 消防無線中継局舎完成
- 9月17日 邑久町虫明長島愛生園内建物火災
焼損面積523m²
- 10月 6日 消防無線局開局



昭和51年
(1976)

- 1月19日 邑久町尻海（通り山）林野火災
焼損面積46.1ha
鎮火まで13時間を要す
- 3月 岡山県共済農業協同組合連合会より
救急車1台寄贈を受ける
- 4月 1日 消防職員5名採用し総員27名となる
- 5月28日 邑久町豆田吉井川河川敷に訓練中の
グライダー墜落1名死亡・1名重傷
- 6月 小型可搬動力ポンプB3級購入
- 7月26日 化学消防自動車1台配備



昭和51年

- 7月27日 ロッキード事件の田
中角栄首相が逮捕さ
れる
- 10月29日 山形県酒田市大火

邑久消防20年のあゆみ

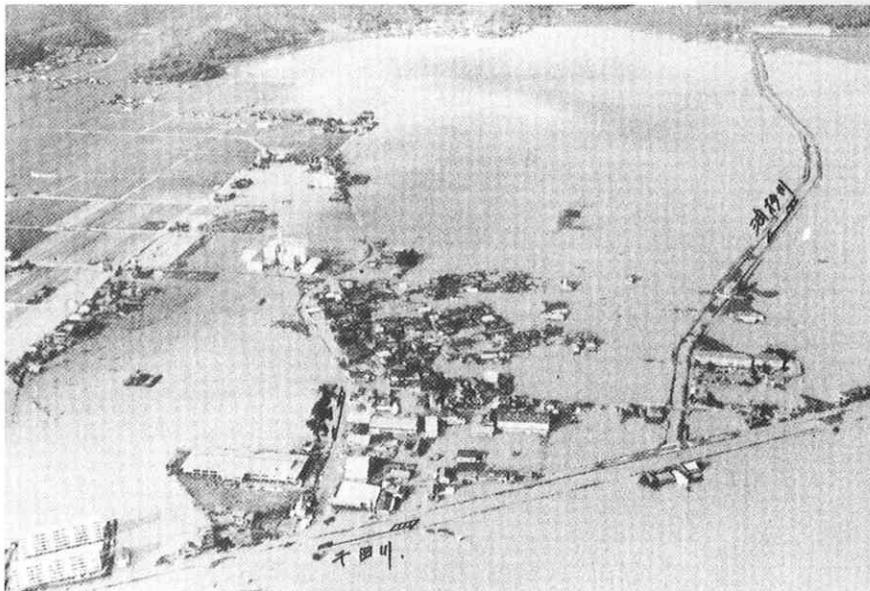
国内・国外のおもな出来事



9月 8日 台風17号各地に大水害

↳

9月13日 吉井川下流の左支派川である千町川及び干田川流域にあたる邑久町及び長船町においては、これら河川の氾濫により、低地一帯が冠水状態となり床上浸水約950戸、床下浸水約2000戸に及んだ



昭和52年
(1977)

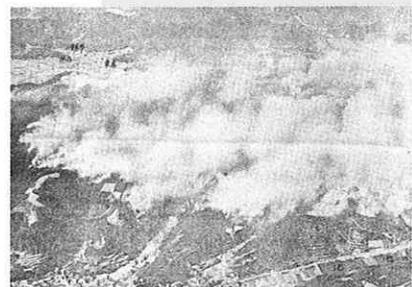
2月15日 長船町東須恵高畑山林野火災

焼損面積239ha

鎮火まで14時間25分を要す

4月 1日 消防職員5名と一般職員1名を採用し

総員33名となる



邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

7月 日本消防協会より広報車1台寄贈を受ける

7月 1日 岡山ブルーハイウェイ開通



10月 1日 牛窓分駐所庁舎完成
消防ポンプ車1台・救急車1台を配備し
消防職員8名で業務を開始する

10月 消防ポンプ車1台購入

12月 日本損害保険協会より消防ポンプ車1台寄贈を受ける

昭和53年 (1978) 2月 日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける
3月 2日 邑久町本庄安楽院本堂全焼 焼損面積250m²



3月 5日 邑久町北島上寺山余慶寺消防訓練

4月 1日 消防職員9名採用し総員42名となる

9月 日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受け
牛窓分駐所に配備

10月 1日 長船分駐所庁舎完成
消防ポンプ車1台・救急車1台を配備し
消防職員8名で業務を開始する

昭和54年 (1979) 10月16日 邑久町虫明邑久光明園看護婦寮建物火災
焼損面積519m²

3月 日本損害協会より救急車1台寄贈を受ける

3月31日 消防職員1名退職し総員41名となる

昭和52年

6月15日 和歌山県有田市で集団コレラ発生

8月 7日 有珠山噴火

昭和53年

1月14日 伊豆大島近海地震 (M7.8)発生

5月20日 成田国際空港開港

6月12日 宮城県沖地震(M7.5)発生

10月10日 瀬戸大橋着工

昭和54年

3月28日 アメリカスリーマイル原発で放射能漏れ事故発生

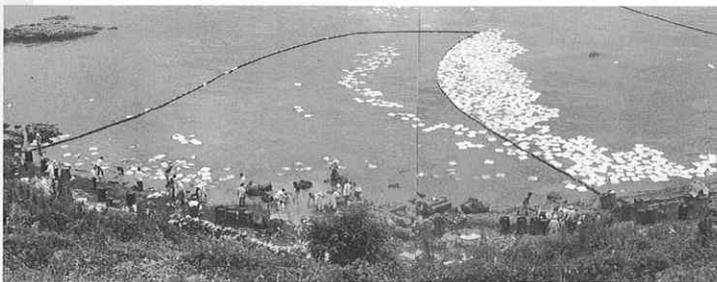
5月 4日 先進国で初の女性首相、サッチャー首相誕生

邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

昭和55年
(1980)

- 4月 1日 消防職員3名採用し総員44名となる
- 4月22日 日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける
- 9月22日 日本損害保険協会より予防広報車1台寄贈を受ける
- 2月 心臓病センター榊原病院との心電図伝送システム運用開始
- 4月 1日 消防職員1名採用し総員45名となる
- 7月30日 邑久町虫明（邑久光明園）
重油30キロリットル流出事故発生



昭和56年
(1981)

- 8月 1日 邑久郡少年婦人防火委員会発足
- 9月 日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受け
長船分駐所に配備
- 2月24日 岡山県共済農業協同組合より救急車1台寄贈を受ける
- 3月28日 邑久町ブルーハイウェイ交通事故4人死傷
- 4月 小型動力消防ポンプC-1級購入
- 5月15日 適マーク制度の発足
- 9月29日 日本消防協会より指令広報車1台寄贈を受ける
- 10月23日 川崎医大とのヘリコプター救急搬送訓練実施



昭和54年

- 7月11日 東名高速道路日本坂トンネル火災7人死亡、車173台が燃える
- 10月28日 民謡「木曾節」で知られる御岳山が有史以来の噴火

昭和55年

- 8月16日 静岡駅前ゴールデン地下街ガス爆発、消防士など15人死亡、233人重軽傷
- 11月20日 栃木県川治プリンスホテル火災45人死亡
- 11月23日 南イタリアー帯で大地震(M6.7)400人以上死亡

昭和56年

- 3月30日 レーガン米大統領、狙撃され重傷
- 4月12日 有人宇宙船スペースシャトル・コロンビア号打ち上げ
- 7月29日 英国のチャールズ皇太子ご結婚
- 10月 6日 北炭坑夕張炭坑ガス突出事故



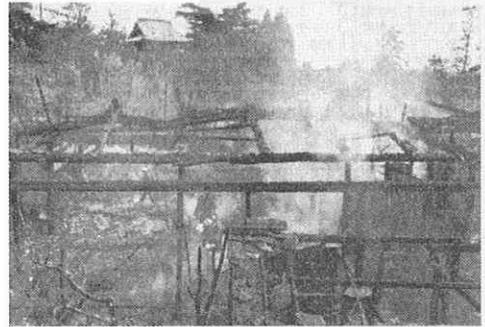
邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

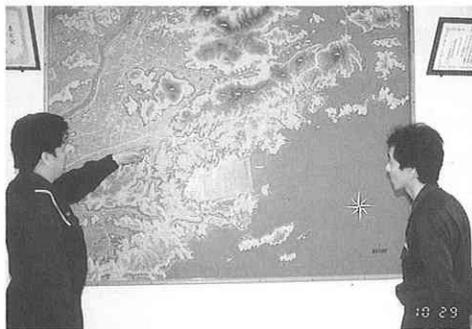
昭和57年 (1982) 6月 9日 千手婦人消防隊、岡山市と地域防火で意見交換を行う
 7月 消防職員1名退職し総員44名となる
 8月 3日 邑久町邑久東少年消防クラブ日本防火協会より表彰を受ける
 9月 9日 「救急の日」がスタートする
 11月14日 「山火事防止」立て看板設置



昭和57年
 2月 8日 東京 赤坂のホテル・ニュージャパン火災 33人死亡
 2月 9日 羽田沖に日航機墜落 24人死亡150人重軽傷
 6月23日 東北新幹線開業
 7月23日 長崎集中豪雨



昭和58年 (1983) 3月17日 邑久町虫明(黒井山)等覚寺火災焼損面積333m²
 4月 邑久郡3町のパノラマ地図完成「図上作戦に活用」



昭和58年
 11月22日 妻恋プロパンガス爆発事故



8月23日 日本消防協会より資器材搬送車1台寄贈を受け 軽可搬ポンプ、チェーンソー等の資器材を積載し山林火災用車両として配備

昭和59年 (1984) 4月 緊急連絡車1台購入
 8月29日 長船町消防団と山火事を想定し合同訓練を実施

昭和59年
 8月4日 ロサンゼルス五輪、岡山県出身の森末慎二選手が金メダル獲得
 9月14日 長野県西部地震

邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

- 昭和60年 (1985) 6月 5日 「初期消火はまかせてー」裳掛地区の
婦人防火クラブが合同消火訓練を実施
8月 邑久消防組合敷地購入
10月22日 15m級バスケット付梯子車配備



昭和60年

8月12日 日航ジャンボ機が御
巢鷹山に墜落、520
人死亡

- 12月16日 岡山県共済農業協同組合連合会より
救急車1台寄贈を受ける
昭和61年 (1986) 3月 5日 牛窓町牛窓中浦保育園全焼建物火災
焼損面積140.8m²
5月28日 邑久郡3町の消防団と合同で水防訓練を実施する
6月 1日 〃
19日 〃
10月 消防庁舎増改築工事竣工
11月 邑久町で独居老人世帯の防火診断を実施する



昭和61年

2月21日 長寿世界一の泉重千
代さんが他界、120
歳238日
フィリピンでアキノ
新政権誕生
マルコス政権崩壊
4月26日 チェルノブイリ原発
事故
11月15日 伊豆大島の三原山が
12年ぶりに噴火、全
住民が島外へ避難
12月28日 国鉄山陰線の余部鉄
橋で列車転落、6人死
亡

- 昭和62年 (1987) 4月 1日 邑久消防組合救助隊を編成する
8月 邑久消防組合敷地購入
9月 ブルーハイウェイ沿線で不審火続発
9月 3日 日本損害保険協会より消防ポンプ車1台寄贈を
受ける
9月12日 日本消防協会より指令車1台寄贈を受ける



昭和62年

3月 8日 東北自動車道50台玉
突き事故
4月 1日 国鉄分割、JRの誕生
6月 6日 東京都東村山市の老
人ホーム「松寿園」
で火災17人焼死
7月11日 世界の人口が50億人
を突破

- 10月 照明救助工作車を配備する
11月 9日 「119番の日」がスタートする
12月19日 日本自動車工業会より救急車1台寄贈を受ける

邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

昭和63年 (1988) 2月13日 邑久町向山旧岡山ヘルスセンター建物火災
焼損面積750.53m²



5月 9日 邑久町虫明長島大橋開通
6月22日 第1回岡山県消防救助技術訓練大会
ほふく救出で初出場し入賞する
8月 邑久消防組合敷地購入

平成元年 (1989) 3月 邑久消防組合訓練場造成完成
3月31日 消防職員1名退職し総員43名となる
4月 1日 消防職員2名採用し総員45名になる
5月24日 連絡車1台購入
8月19日 邑久町喜之助フェスティバルに参加
人形劇団「ファイヤーおく」を結成
以後いろいろな催し物に参加し、人形劇「桃太郎」や「そんごくう」を通じ幼少年に防火を呼びかける
8月23日 長船町八日市マルチ前死亡交通事故
トラックの積み荷の危険物が大量に漏れ一時爆発の危険性



11月 9日 ミニ消防車「しょうちゃん」完成

昭和63年

3月13日 青函トンネルが開業する
3月24日 中国・上海で列車事故、高知の修学旅行生ら28人死亡
4月10日 瀬戸大橋開通
7月21日 広島で集中豪雨、14人死亡
9月17日 ソウル五輪夏季大会開催



平成元年

1月 7日 昭和天皇崩御、87歳
新年号「平成」と決定
1月19日 世界一の深海調査船「しんかい6500」が進水
4月 1日 消費税の導入
6月 4日 北京・天安門事件



7月 9日 伊豆半島東方沖群発地震
11月13日 島根医科大学で国内初の生体肝移植手術



邑久消防20年のあゆみ

- 平成2年 (1990)
- 1月 日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける
 - 9月 日本防火協会より予防広報車の寄贈を受ける
 - 9月17日 台風19号の大雨により各地に大水災害をもたらす 邑久郡3町では家屋全壊4戸、半壊13戸、一部損壊15戸床上浸水1037戸、床下浸水
 - 9月20日 1643戸等の被害が発生した



- 平成3年 (1991)
- 3月31日 消防職員2名退職し総員43名となる
 - 4月 1日 消防長、邑久町役場より出向し総員44名となる
 - 5月 ミニ梯子車「のびたくん」完成



- 5月19日 第38回岡山県消防操法訓練大会邑久町で開催
- 5月26日 連絡車1台購入
- 8月15日 救急救命士法施行
- 8月 邑久消防組合広報誌「邑久消防119広報」創刊 以後8月と2月の年2回発行中
- 9月 第1回岡山県救急技術訓練大会開催
- 11月13日 邑久町中央公民館で消防防災訓練を実施する
- 11月17日 備前市久々井で大規模な林野火災総合訓練実施
- 12月 119番「ISDN」2台設置

国内・国外のおもな出来事

- 平成2年
- 3月15日 岡山県笠岡湾干拓の完工式
 - 3月18日 スーパー長崎屋・尼崎店火災惨事
 - 10月 3日 東西ドイツの統一



- 平成3年
- 1月17日 湾岸戦争勃発、2月28日停戦
 - 3月17日 広島新交通システム高架橋げた落下大惨事
 - 5月 1日 バングラデシュでサイクロン災害13万人以上死亡
 - 5月14日 信楽高原鉄道事故、42人死亡416人重軽傷
 - 6月 3日 雲仙・普賢岳で火災流発生40人死亡、3人不明
 - 9月27日 台風19号災害 青森県ではリンゴに壊滅的な被害を与える
 - 12月 8日 ソ連邦の消滅を宣言

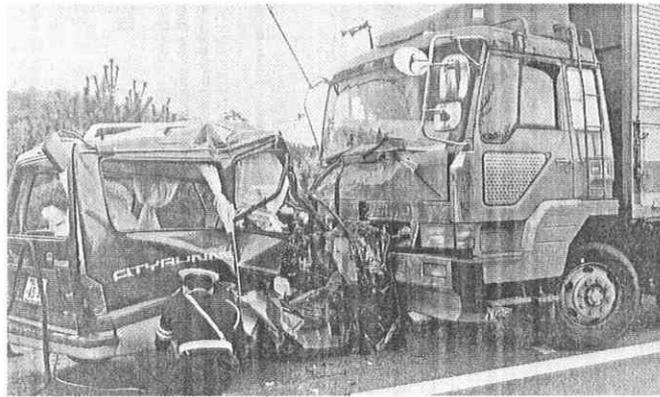
邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

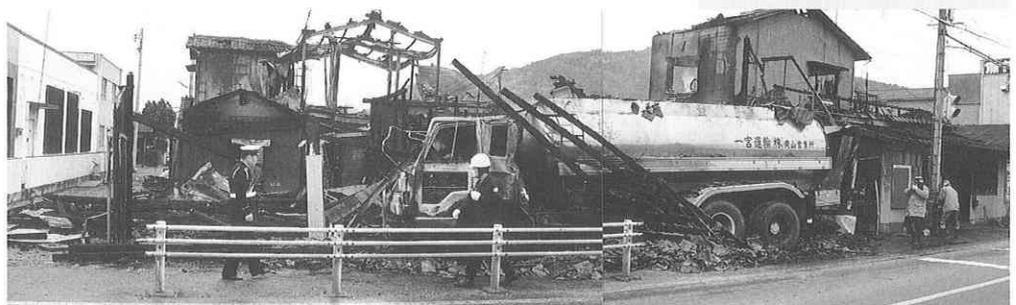
- 平成4年 (1992)
- 1月21日 邑久町北島上寺山で文化財防火訓練を実施
 - 2月26日 日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける
 - 3月 4日 邑久町虫明建物火災5戸全半焼 焼損面積742m²
 - 3月31日 消防職員1名退職し総員43名となる
 - 4月 1日 消防職員3名（内1名は県下初の女性消防士）採用し総員46名となる
 - 9月 9日 消防ポンプ車1台購入
 - 10月 邑久町今城地区119番電話回線切換
いままで邑久町今城地区119番が岡山市消防局に入っていたのが邑久消防組合に入電するようになる



- 10月10日 住宅防火診断開始
- 11月13日 牛窓町(株)エスイーシーと合同防災訓練を実施
- 12月 2日 邑久町尻海ブルーハイウェイで大型トラックと普通ワゴン車が正面衝突しワゴン車の乗員6人全員が死亡



- 平成5年 (1993)
- 1月25日 長船町土師駅前タンクローリーが住宅に突っ込み、付近の住宅7棟を全半焼 焼損面積717m²



平成4年

- 6月15日 茨城県花火工場爆発 民家に延焼
- 6月15日 PKO協力法が衆議院で可決・成立
- 8月 1日 パルセロナ五輪で岡山県出身の有森裕子選手が銀メダル獲得
- 12月18日 中国横断自動車道の落合以北が開通

平成5年

- 1月15日 釧路沖で(M7.8)の大地震
- 2月 7日 能登半島沖で(M6.6)の大地震
- 5月 4日 PKO参加の岡山県警出身の高田警視がカンボジアで殉職
- 5月15日 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)が開幕
- 6月 9日 皇太子さま、雅子さまご結婚
- 7月12日 北海道南西沖地震発生(M7.8) 大津波が奥尻島を強襲、島は壊滅状態 死者・不明200人以上
- 8月 6日 鹿児島豪雨死者・不明49人
- 8月 9日 非自民連立の細川内閣が発足 38年間の自民党単独政権に幕
- 12月16日 山陽自動車道が岡山県内全線開通

邑久消防20年のあゆみ

国内・国外のおもな出来事

2月14日 長船町東須恵高畑山林野火災焼損面積20ha
鎮火まで26時間49分



4月 1日 消防職員2名採用し総員48名となる
臨時職員1名採用する 一般職員から消防職員
(女性消防吏員)に任命する

7月28日 中国地区消防救助技術大会に
「ほふく救出」で出場

10月20日 消防ポンプ車1台購入

11月15日 長船町BLセンターで合同防災訓練を実施

平成6年 1月 1日 岡山ブルーハイウェイ事故多発のため
(1994) 岡山ブルーラインと改名

4月 1日 消防職員2名採用し総員50名になる

5月24日 新庁舎の起工式

5月31日 邑久町豆田で「吉井川水防演習」実施
演習には県や吉井川流域の30市町村、警察、
消防等46団体が参加した

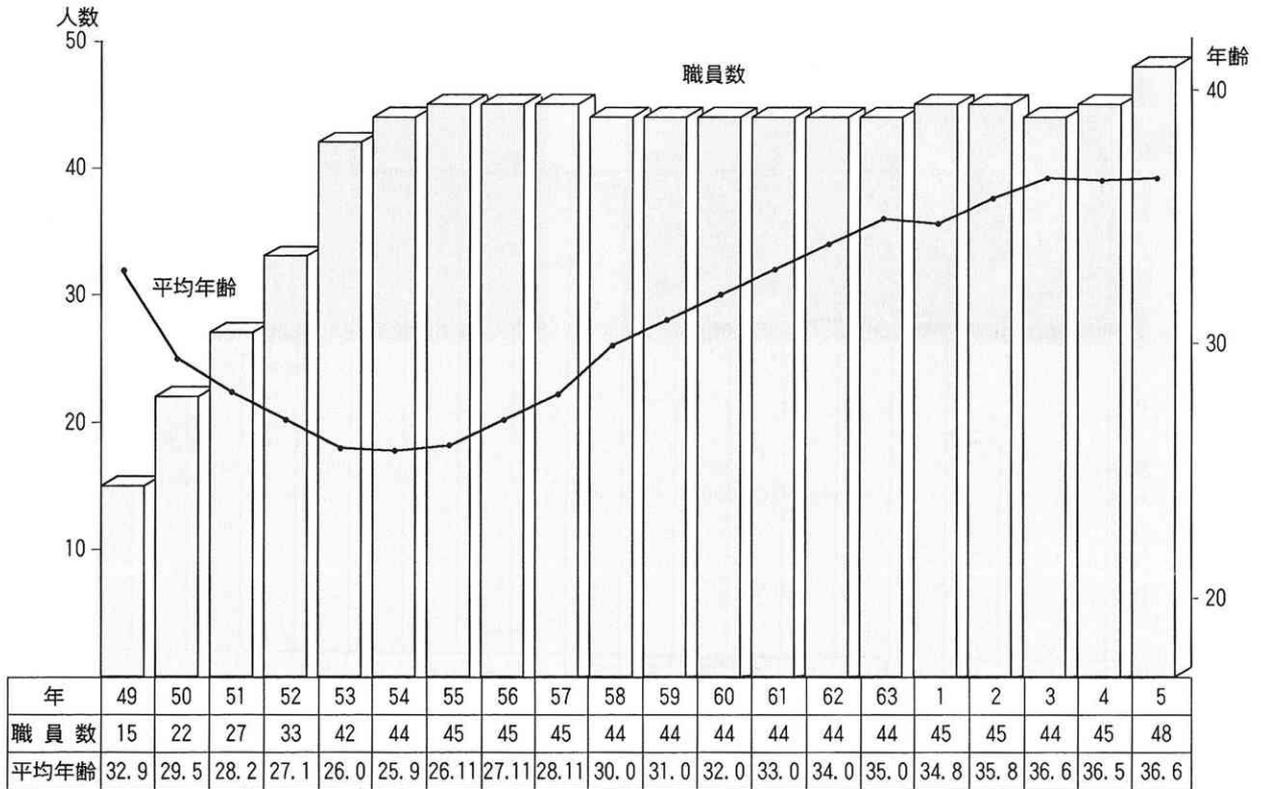


平成6年
4月26日 名古屋空港で中華航
空機墜落死者241人



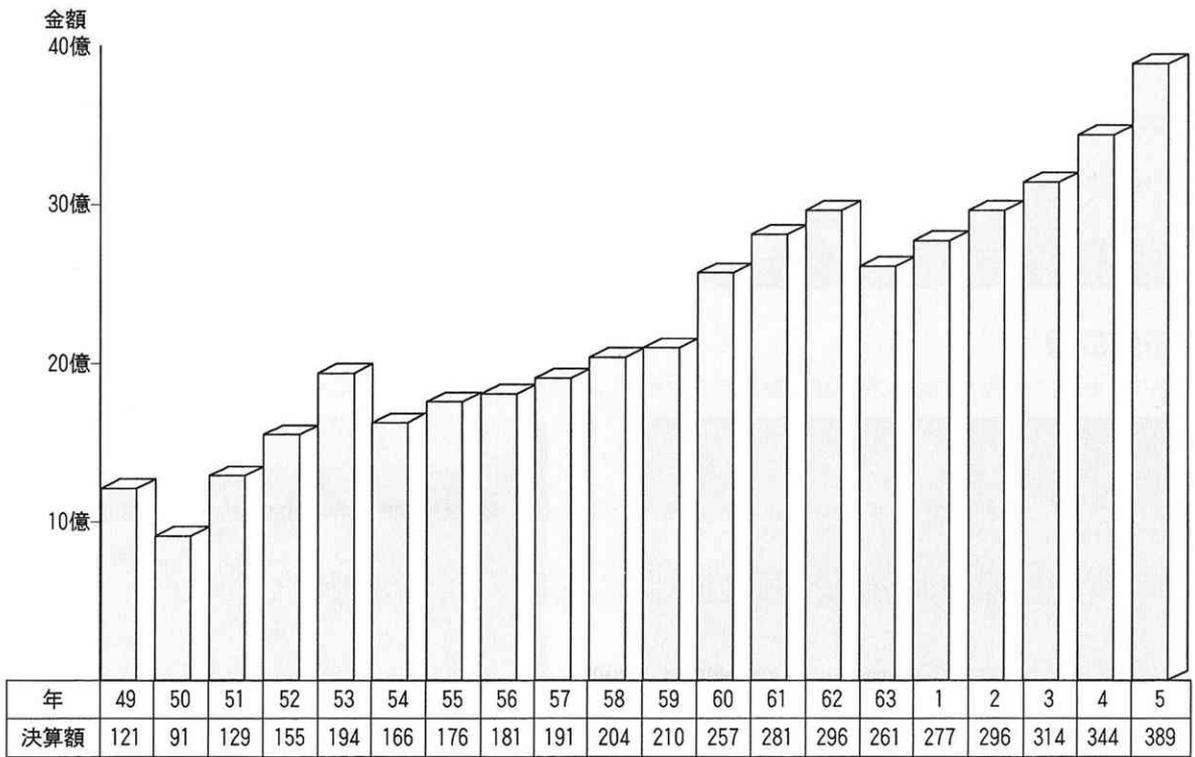
人事

職員数・平均年齢推移



消防予算

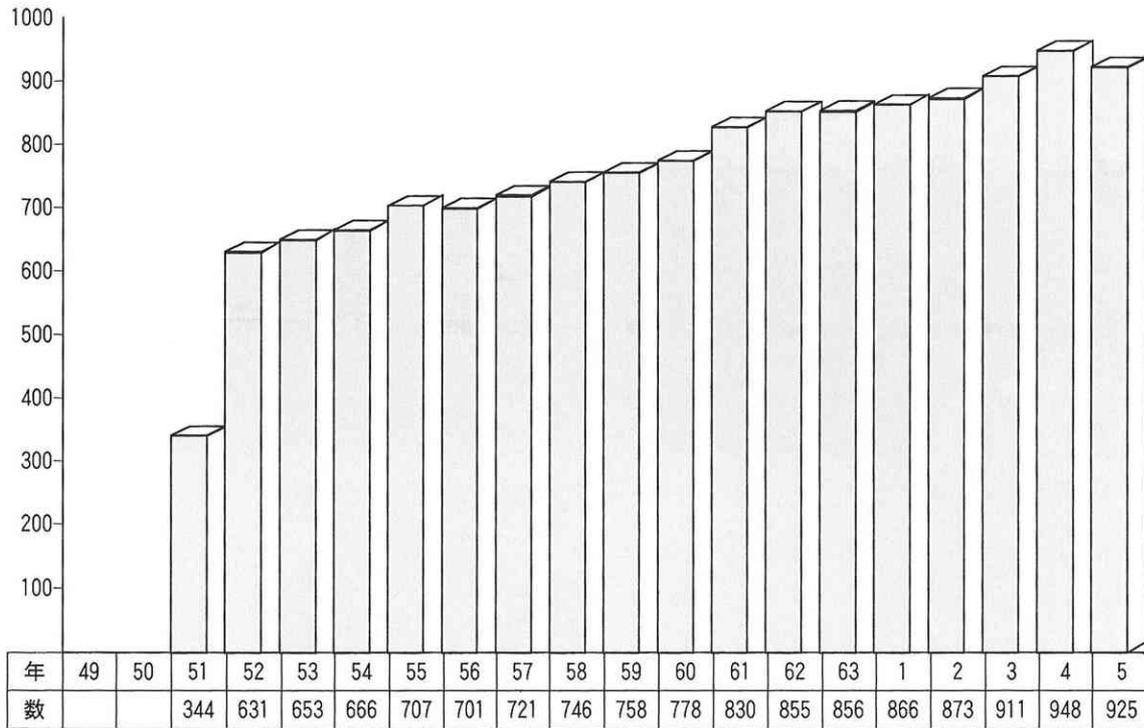
歳出決算額の推移



単位 千万円

予防行政

防火対象物数の推移



予防査察

工場の消防用設備を検査し指導する



住宅防火対策

住宅火災を起こさないよう住宅防火診断を実施

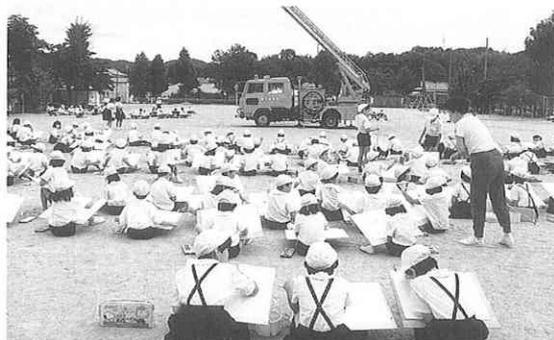


予防広報

防火人形劇で園児たちに火災予防を訴える



消防写生大会で熱心に消防車を写生する子供達



防火訓練指導

職場で避難訓練や消火器の訓練をする



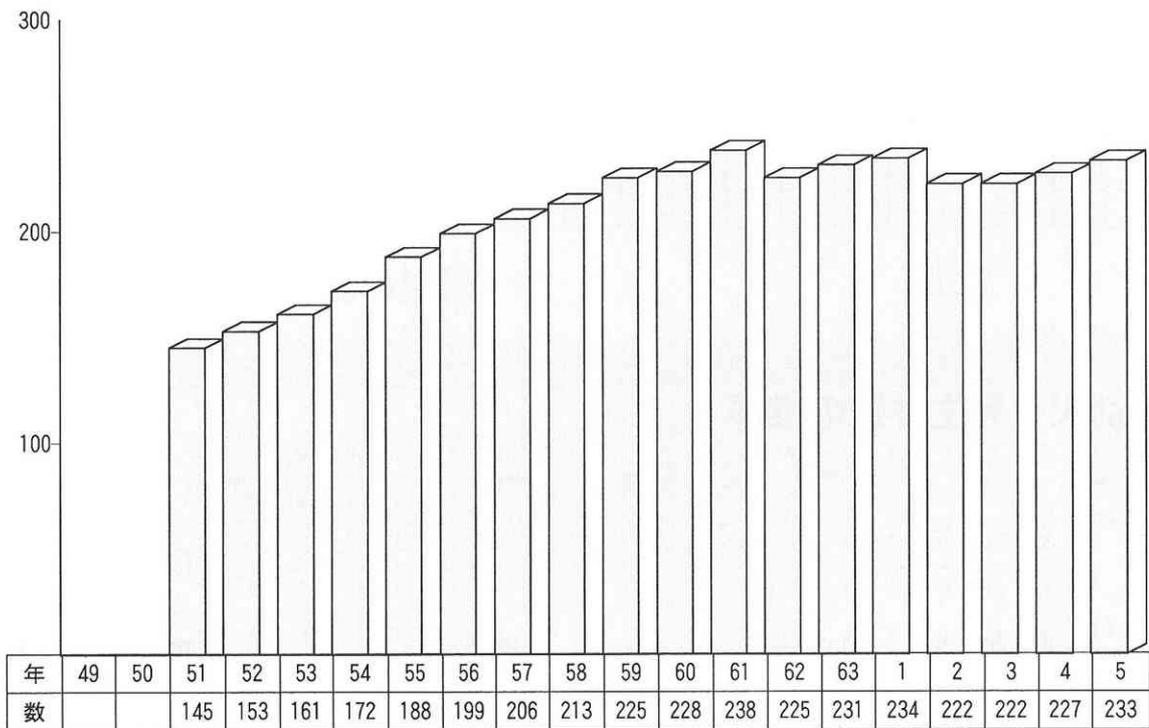
救急訓練指導

人工呼吸法や心臓マッサージの仕方を指導



危険物規制

危険物施設の推移



危険物施設の立入検査

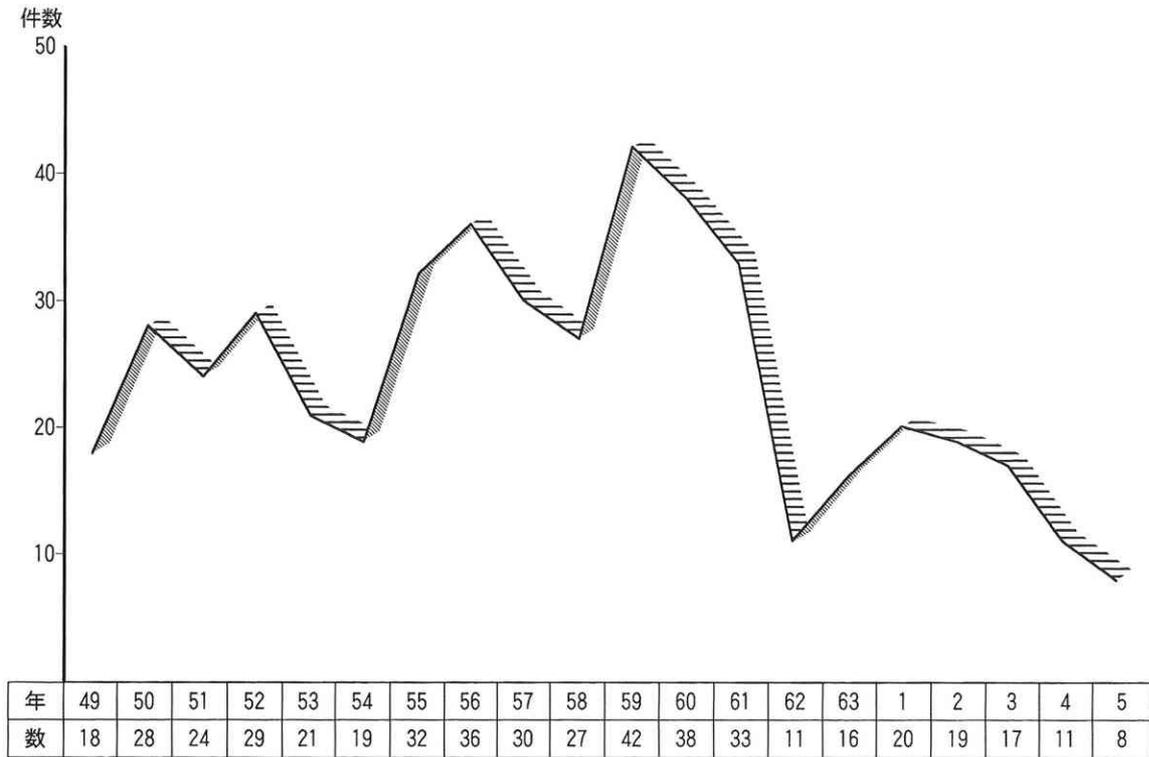
給油取扱所の立入検査



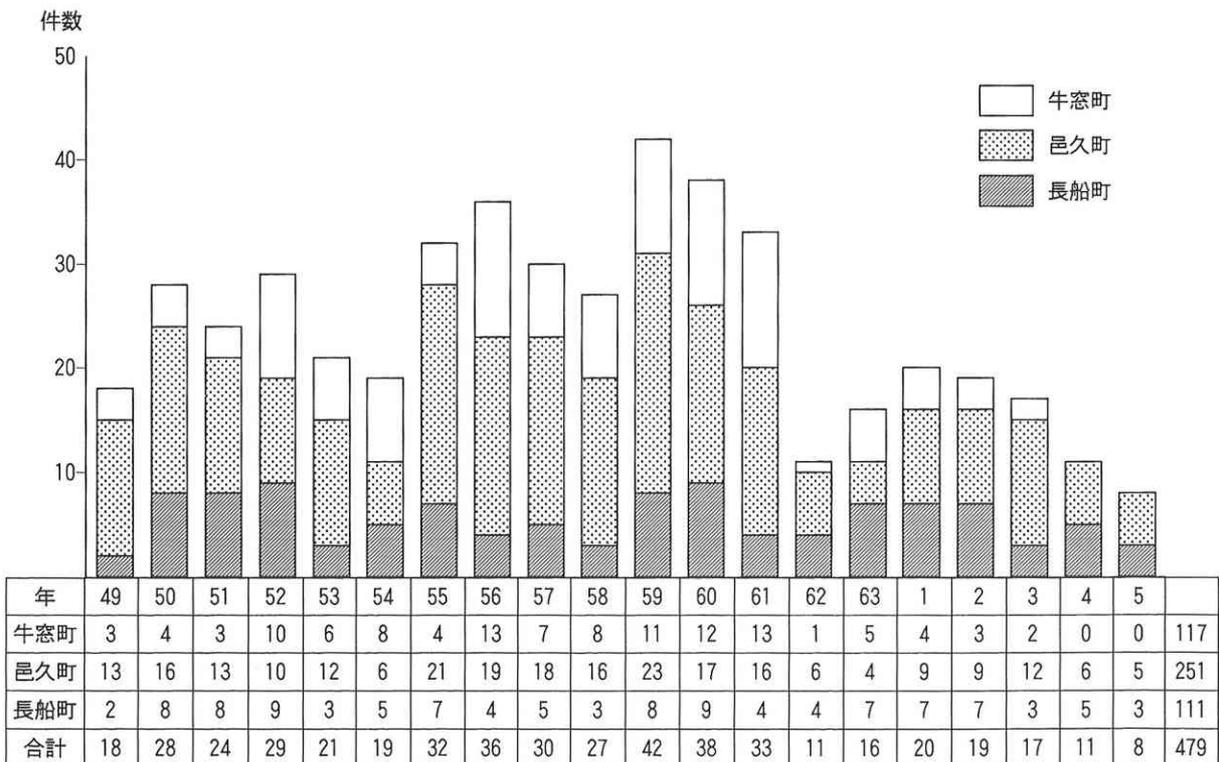
移動タンク貯蔵所の立入検査



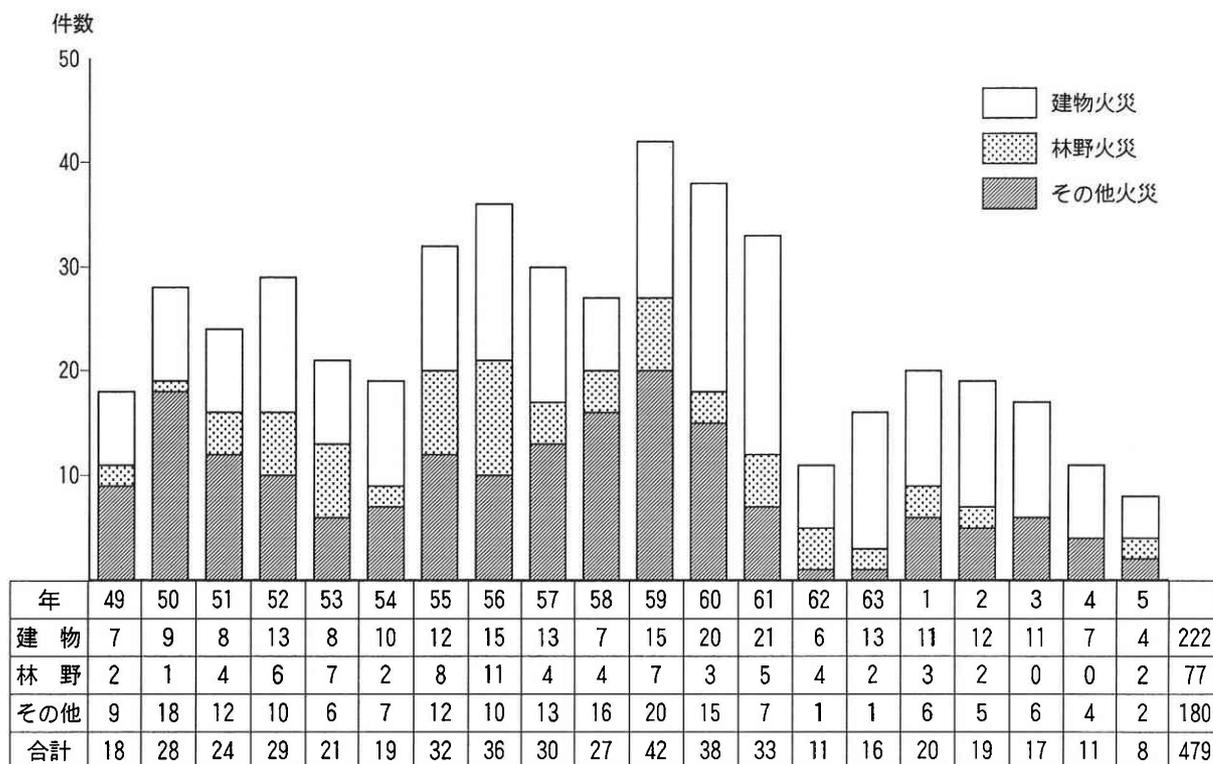
火災発生件数の推移



町別火災発生件数の推移



火災種別別火災発生件数の推移



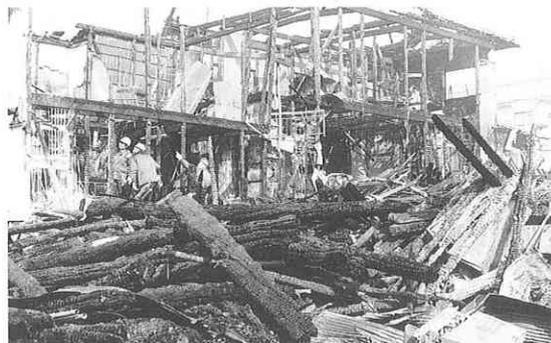
出火原因別発生状況の推移

年	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	
焚火	2	13	0	9	5	5	7	11	10	13	14	10	3	2	1	4	3	2	1	2	117
たばこ	6	2	3	3	0	2	3	4	7	2	4	3	5	3	1	0	2	4	0	0	54
コンロ	0	0	3	2	1	0	3	2	2	0	3	5	4	0	4	2	4	1	1	0	37
火遊び	1	2	6	3	2	3	6	3	3	2	3	4	4	2	1	3	0	0	0	0	48
ストーブ	0	1	2	1	2	0	1	3	1	1	1	0	1	0	1	2	3	0	0	0	20
その他	4	5	4	8	4	6	7	10	5	4	11	13	14	4	3	6	3	6	8	4	129
不明	5	5	6	3	7	3	5	3	2	5	6	3	2	0	5	3	4	4	1	2	74
合計	18	28	24	29	21	19	32	36	30	27	42	38	33	11	16	20	19	17	11	8	479

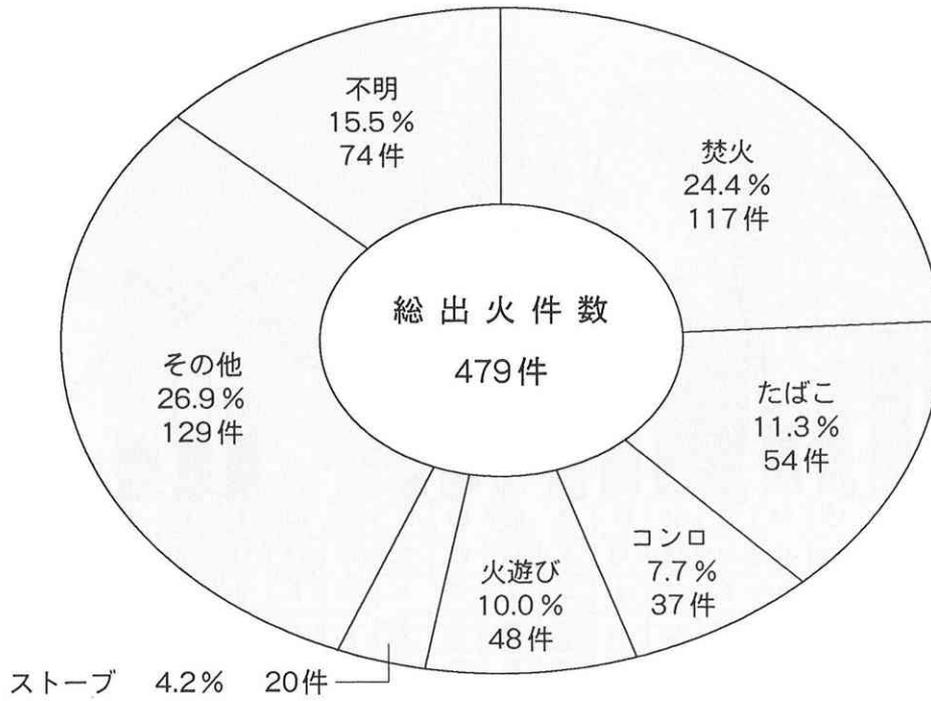
事業所と合同訓練実施中



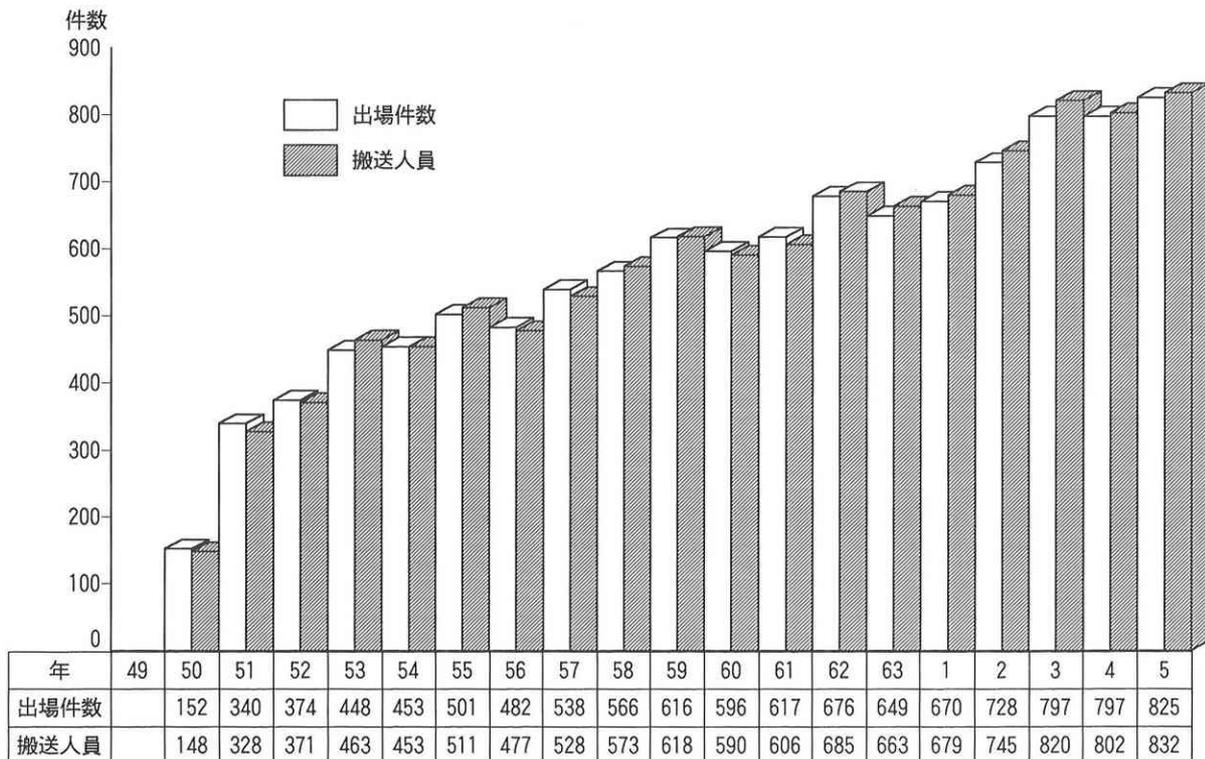
建物火災原因調査中



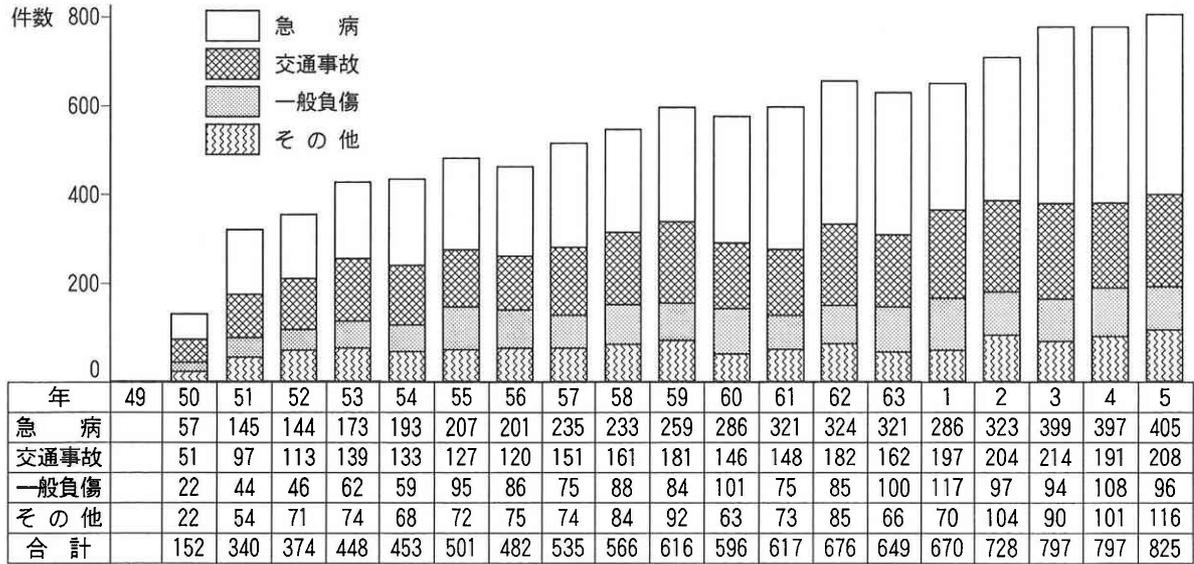
20年間の出火原因



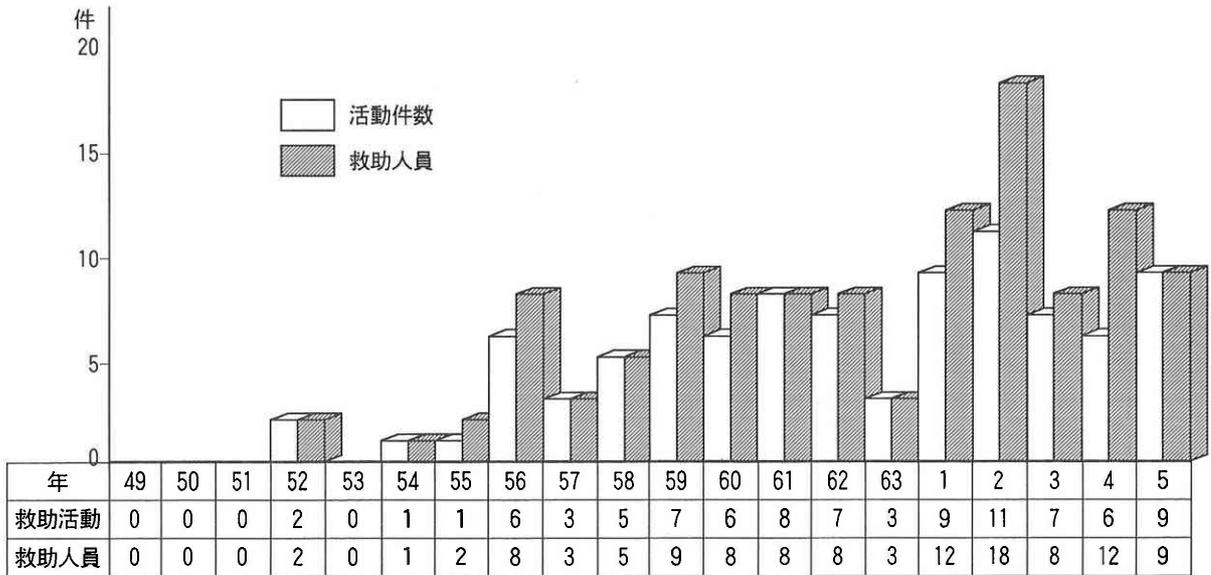
救急出場件数及び搬送人員の推移



事故種別別救急出場件数



救助活動件数及び救助人員の推移



救急隊員の技術向上のため、
常日頃から訓練を実施



事故車両の中から傷者を救出訓練中



自主防災

年末夜回りで防火を呼びかける少年消防クラブ員



軽可搬ポンプでの放水訓練

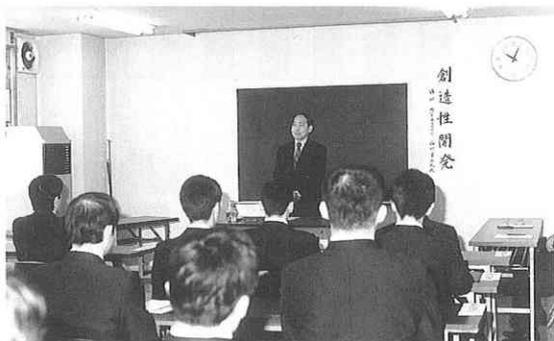


各防火クラブ結成状況一覧表

	幼年		少年		婦人		老人		計	
	クラブ数	クラブ員数								
牛窓町	7	399	7	378	3	71			17	848
邑久町	15	1,007	11	729	29	751	1	36	56	2,523
長船町	8	759	7	535	4	233			19	1,527
計	30	2,165	25	1,642	36	1,055	1	36	92	4,898

- ◆ 防火パレード
- ◆ 防火演技
- ◆ 消防署一日入署
- ◆ 火災についての調査研究
- ◆ 防火夜回り
- ◆ 初期消火訓練
- ◆ 防火研修会
- ◆ 救急応急処置講習会
- ◆ 防火広報
- ◆ 消防写生大会
- ◆ 避難訓練
- ◆ その他各種訓練など

教養研修（職員研修会風景）



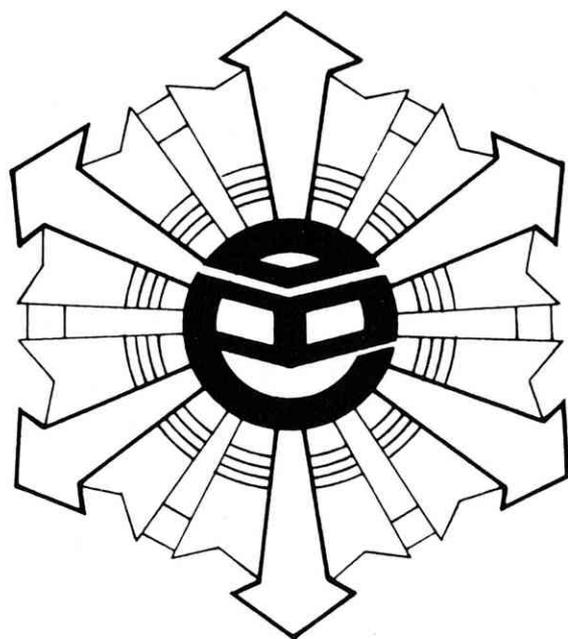
- ◆ 公務員倫理
- ◆ 創造性開発
- ◆ 組織と管理
- ◆ 交通安全運転講習
- ◆ 地方公務員法・地方自治法
- ◆ 接遇対応
- ◆ 名誉住職による講話
- ◆ 教育修了者による研修
- ◆ その他

親睦



- ◆ 岡山県市町村職員バレーボール大会
- ◆ 邑久郡職場対抗ソフトボール大会
- ◆ 職員互助会行事
 - ・ 親睦旅行
 - ・ ソフトボール大会
 - ・ バレーボール大会
 - ・ ボーリング大会
- ◆ 人形劇で喜之助フェスティバル参加
- ◆ その他親睦行事

平成 5 年版
消 防 年 報



は し が き

この消防年報は、邑久消防組合の平成5年中の消防業務に関する

諸般の事項を集録し、将来の参考に資するとともに、

消防事情を広く紹介するために編集したものです。

なお、編集資料のうち予算に関するものは会計年度とし、

その他の事項についてはすべて歴年としました。

平成7年3月

邑久消防組合消防本部

消 防 年 報

ANNUAL REPORT

37・38 …… 総 務

- | | | |
|----------|-----------------|------------------|
| 37・38 …… | 1. 管内人口・世帯数・面積 | 2. 職員の定員・実員及び配置表 |
| 39 …… | 3. 職員の階級別年齢状況 | 4. 階級別勤続年数 |
| 40 …… | 5. 職員特殊技能資格取得状況 | |
| 41 …… | 6. 職員研修状況 | 7. 応援協定締結状況 |
| 42 …… | 8. 予算・決算 | |

43・44 …… 予 防

- | | | |
|----------|-------------------|-------------------|
| 43・44 …… | 1. 防火対象物現況 | |
| 45 …… | 2. 中層建築物現況 | |
| 46 …… | 3. 建築物同意等状況 | |
| 47 …… | 4. 月別消防用設備等着工届出状況 | 5. 月別消防用設備等設置届出状況 |
| 48 …… | 6. 各種届出受理件数 | 7. 防火指導・広報実施状況 |
| 49 …… | 8. 危険物施設現況 | 9. 数量別危険物施設現況 |
| | 10. 危険物施設等の申請取扱件数 | |

51・52 …… 警 防 消 防

- | | | |
|----------|------------------------------|------------------------|
| 51・52 …… | 1. 消防装備 (1) 本部・署・所消防自動車現勢一覧表 | |
| 53 …… | (2) 照明救助工作車積載器具 | |
| 54 …… | 2. 無線通信施設 | 3. 有線通信施設 |
| 55 …… | 4. 無線月別通信回数 | 5. 火災報知専用電話(119)月別受信状況 |
| 56 …… | 6. 火災報知専用電話(119)時間別受信状況 | 7. 水利現況 |
| 57 …… | 8. 火災概況 | |
| 58 …… | 9. 平成2年・3年・4年・5年火災発生比較 | |
| 59 …… | 10. 月別町別火災種別件数・損害額 | |
| 60 …… | 11. 火災の覚知別件数 | 12. 出火原因別火災発生状況 |
| | 13. 湿度と出火件数 | |
| 61 …… | 14. 天候と出火件数 | 15. 曜日別出火件数 |
| | 16. 時間別出火件数 | |
| 62 …… | 17. 火災放水状況 | 18. 火災防ぎょにおける水利使用状況 |
| 63 …… | 19. 月別気象状況 | 20. 天候図 |

65・66 …… 警 防 救 急 ・ 救 助

- | | | |
|----------|------------------|------------------------|
| 65・66 …… | 1. 救急概況 | |
| 67 …… | 2. 覚知別出場件数 | 3. 時間別出場件数 |
| | 4. 町別出場件数 | 5. 傷病程度別救急活動状況 |
| | 6. 年齢区分別傷病程度の状況 | |
| 68 …… | 7. 曜日別月別救急出場件数 | 8. 救急出場時における各距離及び各所要時間 |
| 69 …… | 9. 収容所要時間別搬送人員状況 | 10. 事故別応急処置状況 |
| 70 …… | 11. 医療機関別搬送人員 | 12. 管内管外別搬送人員 |
| | 13. 発生場所別搬送人員 | |
| 71 …… | 14. 救助概況 | 15. 救助活動状況 |

総務



1. 管内人口・世帯数・面積

平成6年4月1日現在

区分		町別			計	
		牛窓町	邑久町	長船町		
人口	(人)					
	男	3,982	9,558	5,461	19,001	
	女	4,506	10,386	5,827	20,719	
	計	8,488	19,944	11,288	39,720	
世帯数		(世帯)	2,689	5,609	3,333	11,631
面積		(km ²)	27.49	68.68	29.30	125.47

2. 職員の定員・実員及び配置表

平成6年4月1日現在

区分		階級別		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
		消防長	消防副長								
定員											57
実員				1	2	5	6	10	8	18	50
実員配置別	消防本部	消防長		1							1
		総務課			1		2	1			4
		予防課				1	2 (1)	1	1	1	5
		通信指令室			1 (1)	1	1 (1)	2 (2)	1 (1)	2 (1)	2
	消防署			1	2	1	3	6	8	21	
	分駐所				2 (1)	2	5	1	8	17	

()内は兼務

3. 職員の階級別年齢状況

平成6年4月1日現在

階級別 年齢区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18以上～20未満							2	2
20～25							4	4
25～30							3	3
30～35					1	3	8	12
35～40			1	3	6	4	1	15
40～45		1			2	1		4
45～50			1	3				4
50～55			3		1			4
55以上	1	1						2
計	1	2	5	6	10	8	18	50

4. 階級別勤続年数

平成6年4月1日現在

階級別 勤続年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	総数
1年未満							2	2
1年以上							3	3
2年以上							2	2
3年以上	1							1
4年以上								
5年以上							2	2
6年以上								
7年以上								
8年以上								
9年以上								
10年以上								
11年以上								
12年以上								
13年以上								
14年以上						1		1
15年以上							3	3
16年以上					1	2	5	8
17年以上				1	3	2		6
18年以上		2	5	5	6	3	1	22
平均勤続年数	3.0	20.0	19.8	19.0	18.0	16.9	9.0	14.7
計	1	2	5	6	10	8	18	50

5. 職員特殊技能資格取得状況

平成6年4月1日現在

階級別 資格別		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
		実	1	2	5	6	10	8	18
自動車運転免許証	大型第2種						1	1	2
	大型第1種		1	4	6	8	6	3	28
	普通第2種			2			1	1	4
	普通第1種	1	2	5	3	9	7	18	45
	大型特殊			1	1		1	1	4
	大型特殊第2種						1	1	2
	けん引				1		1	1	3
	けん引第2種						1	1	2
	二輪	1	2	5	6	10	7	12	43
特殊無線技士(乙)			1	5	6	10	7	16	45
県消防学校専科教育救急科I課程			2	5	6	10	7	15	45
県消防学校専科教育救急科II課程					2	5	1	3	11
危険物取扱者乙4類				3		1			4
消防設備士				1					1
小型船舶操縦士			1	5	3	5	2	8	24
自動車整備士3級				1					1
アセチレンガス溶接			1					1	2
水上救助者資格				1	2			1	4
電気工事士					1			1	2
16ミリ映写機操作				2		2	1		5
移動式クレーン				1			1	2	4
玉掛け				3	6	7	7	8	31
建設機械(3t未満)								1	1

6. 職員研修状況

区分		年度別											
		58迄	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	
岡山 県 消 防 学 校	特別初任教育	14											
	初任教育	38						2			3	2	
	幹部教育	7							1	1	1	1	
	特別研修	4											
	特殊無線科	38											
	救助技術科	43	5	2	2	1	1	2		1	2		
	予防専科	21							1	1	1	1	
	救急専科Ⅰ課程	32						2	1		2	2	
	救急専科Ⅱ課程									1	5	5	
	警防科												1
	現任科								1	1			
	火災調査科												2
	梯子車操作科					3					1	1	
	水難救助科												1
消防大学校（予防科）													1

7. 応援協定締結状況

	相手市町村名	締結年月日
1	牛窓町	昭和49年6月1日
2	邑久町	昭和49年6月1日
3	長船町	昭和49年6月1日
4	東備消防組合	昭和51年5月1日
5	赤磐消防組合	昭和51年7月1日
6	岡山県下78市町村9消防組合	平成2年4月1日

8. 予 算・決 算

歳 入

(単位 千円)

区 分 款	平成5年度予算			平成5年度 決算額	平成6年度 当初予算額
	当初予算	補正予算	計		
分担金及び負担金	365,792	4,338	370,130	370,130	511,765
使用料及び手数料	1,000	180	1,180	1,400	1,000
国庫支出金	4,035	0	4,035	4,035	13,891
県支出金	13	3	16	16	16
財産収入	1,400	△ 290	1,110	1,106	169,710
寄付金					3,800
繰入金	14,500	△ 14,500	0		30,000
繰越金	11,751	1,430	13,181	13,181	600
諸収入	1,900	△ 260	1,640	1,699	1,200
組合費					411,700
計	400,391	△ 9,099	391,292	391,567	1,143,682

歳 出

(単位 千円)

区 分 款	平成5年度予算			平成5年度 決算見込額	平成6年度 当初予算額
	当初予算	補正予算	計		
議会費	2,046	△ 300	1,746	1,677	2,056
総務費	2,127	△ 290	1,837	1,828	1,748
消防費	392,825	△ 8,723	384,102	382,150	1,136,317
公債費	3,051	0	3,051	3,050	2,926
予備費	342	214	556	0	635
計	400,391	△ 9,099	391,292	388,705	1,143,682

予 防



1. 防火対象物現況

防 火 対 象 物 区 分		牛窓町	邑久町	長船町	計		
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場					
	ロ	公会堂・集会場		7	16	6	29
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ					
	ロ	遊技場・ダンスホール				3	3
3	イ	待合・料理店					
	ロ	飲食店		7	4	4	15
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場		1	11	13	25
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		49	2	1	52
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		9	36	7	52
6	イ	病院・診療所・助産所		2	118	6	126
	ロ	養老・更生・救護施設		2	10	3	15
	ハ	幼稚園・養護学校・盲学校・ろう学校		3	5	3	11
7		小・中・高・大・各種学校		8	26	9	43
8		図書館・博物館・美術館		3	2	1	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場					
	ロ	一般公衆浴場					
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場					
11		神社・寺院・教会		10	10	2	22
12	イ	工場・作業場		62	77	79	218
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫・駐車場		4	4	4	12
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫					
14		倉庫		34	39	47	120
15		その他の事業場		22	35	23	80
16	イ	特定複合用途対象物		17	25	13	55
	ロ	その他の複合用途対象物		14	17	18	49
16の2		地下街					
16の3		建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの					
17		重要文化財・重要美術品等の建造物		6	4		10
18		延長50m以上のアーケード					
		計		260	441	242	943

2. 中層建築物現況

防 火 対 象 物 区 分			3 階	4 階	5 階	6 階	計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場					
	ロ	公会堂・集会場					
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ			1		1
	ロ	遊技場・ダンスホール					
3	イ	待合・料理店					
	ロ	飲 食 店	1		1		2
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場					
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	4	2	1	1	8
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	10	2	6		18
6	イ	病院・診療所・助産所	2				2
	ロ	養老・更生・救護施設	1				1
	ハ	幼稚園・養護学校・盲学校・ろう学校					
7		小・中・高・大・各種学校	18	1			19
8		図書館・博物館・美術館					
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場					
	ロ	一般公衆浴場					
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場					
11		神社・寺院・教会					
12	イ	工場・作業場	2	1	1		4
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ					
13	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫					
14		倉 庫					
15		その他の事業場	4	1			5
16	イ	特定複合用途対象物	7	2			9
	ロ	その他の複合用途対象物	4			1	5
16の2		地 下 街					
16の3		建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの					
17		重要文化財・重要美術品等の建造物	2				2
18		延長50m以上のアーケード					
		計	55	9	10	2	76

3. 建築物同意等状況

防火対象物区分		種 別	新 築	増 築	改 築	用途変更	その他	計
1	公 会 堂 ・ 集 会 場		2					2
2	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル		1					1
3	飲 食 店							
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場		1					1
5	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所			1				1
	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅		7					7
6	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所		3	2				5
	養 老 ・ 更 生 ・ 救 護 施 設		2					2
	幼 稚 園 ・ 盲 ・ ろ う ・ 養 護 学 校							
7	小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 ・ 各 種 学 校		1					1
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館							
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会							
12	工 場 ・ 作 業 場		6	1				7
13	車 庫 ・ 駐 車 場		1					1
14	倉 庫		14					14
15	そ の 他 の 事 業 場		8	1				9
16	特 定 複 合 用 途 対 象 物		3	1				4
	そ の 他 の 複 合 用 途 対 象 物		4					4
	併 用 住 宅							
	専 用 住 宅		47	4	1			52
	危 険 物 施 設		1					1
	工 作 物							
	エ レ ベ ー タ ー 等		1					1
	合 計		102	10	1			113

4. 月別消防用設備等着工届出状況

設備名	月 別												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
屋内消火栓設備		1										1	2
屋外消火栓設備										1			1
自動火災報知設備	2	2	4	2		4	1	1	2	4	3	1	26
非常警報設備				1									1
非常放送設備						1							1
漏電火災警報器								1					1
誘導灯及び誘導標識	1	1	2	2				1		2	3		12
移動式粉末消火設備											1		1
合 計	3	4	6	5	0	5	1	3	2	7	7	2	45

5. 月別消防用設備等設置届出状況

設備名	月 別												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
消 火 器	4	2	7	2		1	1	2	1			3	23
屋内消火栓設備	1												1
屋外消火栓設備	1											1	2
自動火災報知設備	5	3	5	2	1	3	3	15	1	1	2	2	43
非常警報設備				1									1
非常放送設備						1				1			2
漏電火災警報器								1					1
避 難 器 具			1										1
誘導灯及び誘導標識	1	1	2	3		1	1	1				2	12
合 計	12	6	15	8	1	6	5	19	2	2	2	8	86

6. 各種届出受理件数

届出種別	月 別												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
防火対象物使用開始届	1	4	4	3		2	2	1	1	1	2	2	23
消防用設備等着工届	3	5	5	3		4	2	1	2	7	6	2	40
防火管理者選解任届	2	4	1	3	4		2	1	2		1	1	21
消 防 計 画 届	2	5	2	3	7	7	4		3	3	2	2	40
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱届				2	1			1	1			1	6
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届				3	2	2	2		1	4			14
火気使用設備設置届										2			2
発電・変電・蓄電池設備設置届出書	3	3	1			3					1	1	12
煙火消費催物開催届		1					6		1	1	1		10
道路水道工事届	20	16	27	19	11	12	14	22	17	8	10	15	191
揚 煙 届	17	15	11	14	17	8	15	7	10	7	2	3	126
水素ガスを充填する気球の設置届								1					1
断 水 届	2		4	4		1	1		1	1		1	15
計	50	53	55	54	42	39	48	34	39	34	25	28	501

7. 防火指導・広報実施状況

項 目	消 防 署 見 学	防 火 映 画	水 上 安 全 救 急 法 指 導	防 火 講 話	防 火 人 形 劇	防 火 訓 練	巡 回 広 報	合 計
回 数	12	8	9	80	7	56	125	297

8. 危険物施設現況

製造所等の別	貯 蔵 所											取 扱 所							合 計					
	屋内貯蔵所			屋外タンク貯蔵所		地下タンク貯蔵所		移動タンク貯蔵所		簡易タンク貯蔵所		屋外貯蔵所	小計	一般取扱所						給油取扱所				
	平屋建	高層式	指定過酸化物質	平屋建以外	タンク貯蔵所	タンク貯蔵所	積載式	給油タンク車	タンク貯蔵所	タンク貯蔵所	吹付塗装等			焼入作業等	ボイラー等消費え	詰替え	油圧装置等	充てん		航空機	船舶	鉄道	自家用	
																								平屋建
数	5	33									1	4	144	37			14	14	2	47	4	13	84	233

9. 数量別危険物施設現況

製造所等の別 数量別	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	小計	
5 倍 以 上		20	8	2	35	1	10	3	79	7	19	26	105
5 倍をこえ 10 倍以下	1	5	7		10		1	1	24	4	14	18	43
10 倍をこえ 50 倍以下	3	4	7		18				29	16	4	20	52
50 倍をこえ 100 倍以下		1			2		1		4	8		8	12
100 倍をこえ 150 倍以下	1	3	4						7	7		7	15
150 倍をこえ 200 倍以下			1						1	2		2	3
200 倍をこえるもの										3		3	3
合 計	5	33	27	2	65	1	12	4	144	47	37	84	233

10. 危険物施設等の申請取扱件数

製造所等の別 区分	許 可		タンク検査		完成検査		廃 止	承 認		
	設 置	変 更	水 張	水 圧	設 置	変 電		仮 使用	仮 貯蔵	仮 取扱
合 計	8	30	22	1	9	24	11	19		1
製 造 所	1	7	19	1	1			4		
貯 蔵 所	屋 内	2	2			2	2	4		
	屋 外									
	屋 内 タンク									
	屋 外 タンク		1	2		2	1	2		
	地 下 タンク	2	1			2	1			
	簡 易 タンク									
	移 動 タンク		3				4	2		
取 扱 所	給 油	2	13			1	14	1	12	
	一 般	1	3	1		1	2	2	3	1

警 防

消 防



1. 消 防 装 備

(1) 本部・署・所消防自動車現勢一覧表

平成6年1月1日現在

所 属	車 両 名	名 称	登 録 番 号	車 両 年 式	原 動 機 性 能		ポ ン プ 性 能		積 載 器 具 器 材
					気筒数	排気量	級別	規格放水量	
本 部 及 び 本 署	ポンプ車	1号車	岡 88 さ30-70	昭和 52年	6	3,950 ^{cc}	A1	2.80 ^{m³/min}	梯子、ホースカー、ホース20本、空気呼吸器(1)
	化学車	2号車	岡 88 さ24-01	昭和 51年	6	5,970	A2	2.00	泡消火薬剤500ℓ、水槽1,500ℓ、耐熱服、ホースカー、梯子、ロープ、ワイヤー、ホース26本、空気呼吸器(1)、投光器一式、ジェットシューター(2)
	救急車	3号車	岡山 88 す38-33	平成 4年	4	1,990			酸素吸入器、人工蘇生器、マジックギブス、ワイヤー、パール、エルダーレサシテーターセット、背板
	指令車	5号車	岡 88 な61-52	昭和 62年	4	1,480			放送設備(トライレン)
	緊急連絡車	6号車	岡 88 な47-90	昭和 59年	6	1,988			
	予防広報車	8号車	岡山 88 す23-29	平成 2年	4	1,990			放送設備、ビデオ装置一式
	救出救助用資機材搬送車	9号車	岡 88 さ62-86	昭和 58年	4	1,952	C1 D2	0.35 0.093	放送設備(トライレン)、草刈機(3)、チェンソー(3)、組立水槽(300ℓ)、C1ポンプ一式、D2ポンプ一式、可搬式送水装置、ジェットシューター(9)
	救急車	11号車	岡山 88 す16-64	平成 2年	4	1,990			酸素吸入器、人工蘇生器、マジックギブス、ワイヤー、パール、デマンドバルブ、背板
	梯子車	12号車	岡 88 さ74-75	昭和 60年	6	6,720	A2	2.00	ホース8本、空気呼吸器(2)、投光器一式
	連絡車	13号車	岡山 41 つ67-58	平成 3年	3	650			
	指令広報車	14号車	岡 88 な39-62	昭和 56年	4	1,595			放送設備(トライレン)
	ポンプ車	15号車	岡 88 さ86-09	昭和 62年	6	3,950	A1	2.80	梯子、ロープ、ホース20本、空気呼吸器(2)、投光器一式、ワイヤー、ホースカー、ジェットシューター(3)
	照明救助工作車	16号車	岡 88 は38-55	昭和 62年	6	6,720			消防装備(2) 照明救助工作車積載器具記載
	連絡車	17号車	岡山 41 こ54-01	平成 元年	3	550			
小型動力ポンプ				2		B3	0.50		
牛 窓 分 駐 所	ポンプ車	牛 窓 1号車	岡 88 す56-50	平成 5年	6	4,160	A2	2.00	梯子、ロープ、ホース20本、空気呼吸器(1)、投光器一式、ワイヤー、ホースカー、ジェットシューター(2)
	救急車	牛 窓 2号車	岡 88 さ75-82	昭和 60年	4	1,950			酸素吸入器、人工蘇生器、マジックギブス、ワイヤー、パール、エルダーレサシテーターセット、背板
	可搬積載車	牛 窓 3号車	岡 88 さ34-54	昭和 53年	4	1,580	C1	0.50	小型動力ポンプ、ホース15本、ジェットシューター(2)
長 船 分 駐 所	ポンプ車	長 船 1号車	岡山 88 す44-25	平成 4年	6	3,950	A2	2.00	梯子、ロープ、ホース20本、空気呼吸器(1)、投光器一式、ワイヤー、ホースカー、ジェットシューター(2)
	救急車	長 船 2号車	岡 88 さ88-57	昭和 62年	4	1,990			酸素吸入器、人工蘇生器、マジックギブス、ワイヤー、パール、エルダーレサシテーターセット、背板
	可搬積載車	長 船 3号車	岡 88 さ45-67	昭和 55年	4	1,560	B2	1.00	小型動力ポンプ、ホース15本、ジェットシューター(2)

(2) 照明救助工作車積載器具

分 類	品 名	分 類	品 名	
一 般 救 助 用 器 具	かぎ付はしご	破壊用器具	ハンマドリル	
	三連はしご	測定用器具	可燃性ガス測定器	
	ワイヤはしご	呼吸保護用器具	空気呼吸器	
	空気式救助マット		防塵マスク	
	救命索発射銃		送排風機	
	サバイバースリング	隊員保護用器具	革手袋	
	平担架		安全帯	
	ロープ		耐電手袋	
	カラビナ		耐電長靴	
	滑車		耐熱服	
重 量 物 排 除 器 具	油圧ジャッキ (10t)	水難救助用器具	救命胴衣	
	ウィンチ (5t)		救命浮環	
	可搬式ウィンチ (1.6t)	山岳救助用器具	バスケット型担架	
	ワイヤーロープ		投光器一式 (800w)	
	クレーン (2.9t)		投光器 (500w×12)	
切 断 用 器 具	油圧切断機 (20t)	そ の 他 の 救 助 用 器 具	携帯拡声器	
	エンジンカッター		応急処置用セット (20人用)	
	ガス溶断機		その他の携帯用救助器具	
	空気鋸		緩降機	
破 壊 用 器 具	万能斧			
	ハンマー			
	削岩機			
	油圧スプレッダー			

2. 無線通信施設

平成6年1月1日現在

呼出名称	種別	設置場所	所属	空中線電力	周波数 MHz
しょうぼうほんじょう	中継局	中継局	中継基地	0.1・10W	149.61・153.51
おくしょうぼう	基地局	通信指令室	消防本部	0.1W	149.61
おく 1	陸上移動局	ポンプ車	消防署	10W	153.51・153.53
おく 2	〃	化学車	〃	〃	〃
おく 3	〃	救急車	〃	〃	〃
おく 4	〃	〃	〃	〃	〃
おく 5	〃	指令車	消防本部	〃	〃
おく 6	〃	緊急連絡車	〃	〃	〃
おく 7	〃	〃	消防署	〃	〃
おく 8	〃	予防広報車	消防本部	〃	〃
おく 9	〃	救出救助用資器材搬送車	消防署	〃	〃
おく 10	〃	〃	消防本部	〃	〃
おく 11	〃	救急車	消防署	〃	〃
おく 12	〃	梯子車	〃	〃	〃
おく 13	〃	連絡車	消防本部	〃	〃
おく 14	〃	指令広報車	〃	〃	〃
おく 15	〃	ポンプ車	消防署	〃	〃
おく 16	〃	照明救助工作車	〃	〃	〃
おく 17	〃	連絡車	消防本部署	〃	〃
おく 18	〃	〃	消防署	〃	〃 150.73 〃
おく 19	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 20	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 51	〃	〃	〃	5 W	〃 〃 〃
おく 52	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 53	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 54	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 55	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 56	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 103	〃	〃	〃	1 W	〃 〃 〃
おく 104	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 105	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 107	〃	〃	〃	〃	〃 150.73 〃
おく 108	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
おく 109	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
しょうぼううしまど	基地局	牛窓分駐所	牛窓分駐所	10 W	〃 〃
うしまど 1	陸上移動局	ポンプ車	〃	〃	〃 150.73 〃
うしまど 2	〃	救急車	〃	〃	〃 〃 〃
うしまど 3	〃	可搬積載車	〃	〃	〃 〃 〃
うしまど 101	〃	〃	〃	1 W	〃 〃 〃
うしまど 102	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃
しょうぼうおさふね	基地局	長船分駐所	長船分駐所	10 W	〃 〃
おさふね 1	陸上移動局	ポンプ車	〃	〃	〃 150.73 〃
おさふね 2	〃	救急車	〃	〃	〃 〃 〃
おさふね 3	〃	可搬積載車	〃	〃	〃 〃 〃
おさふね 101	〃	〃	〃	1 W	〃 〃 〃
おさふね 102	〃	〃	〃	〃	〃 〃 〃

3. 有線通信施設

種別	回線区分
指令装置 (C級)	119受信回線 13 邑久(2局) 虫明(2局) 牛窓(2局) 長船(2局) ISDN-119(2局) 災害用-119(1局) 長船(1局) 今城(1局)
NTT電話	一般加入電話 16 発信専用電話 3 ファクシミリ 3 転送電話 2

4. 無線月別通信回数

消 防 本 部

月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
通 信 回 数	10,602	795	990	1,008	962	912	807	972	860	808	844	786	858

牛 窓 分 駐 所

月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
通 信 回 数	1,500	126	112	134	122	126	120	126	126	122	128	134	124

長 船 分 駐 所

月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
通 信 回 数	1,546	144	114	128	122	124	120	132	128	132	138	136	128

5. 火災報知専用電話（119）月別受信状況

月 別	受 信 種 別	火 災 通 報	救 急 通 報	そ の 他 の 災 害 通 報	訓 練 通 報	火 災 ・ 救 急 問 い 合 せ	い た ず ら	医 療 機 関 問 い 合 せ	誤 っ て 一 一 九 に かけ た も の	届 出 ・ 苦 情 ・ 相 談	応 答 な し	合 計
1 月		1	47			1	2	15	21	1	15	103
2 月		12	52			6	2	5	9		15	101
3 月		3	46		2	6	1	6	24	1	13	102
4 月		4	43				2	12	19		16	96
5 月		3	56			3	1	7	16		18	104
6 月			63		2	1	2	14	13		12	107
7 月		2	73			4	7	10	23	1	17	137
8 月		1	68			2	6	13	19	2	20	131
9 月		2	54		1	1	3	12	16	1	20	110
10 月		2	57					15	18		6	98
11 月		1	44		1		3	8	14	1	8	80
12 月		1	67		5	2	1	9	15		12	112
合 計		32	670		11	26	30	126	207	7	172	1,281

6. 火災報知専用電話（119）時間別受信状況

時間	受信種別	火災通報	救急通報	その他の災害通報	訓練通報	火災・救急問い合わせ	いたずら	医療機関問い合わせ	誤ったもの	届出・苦情・相談	応答なし	合計
0～2		2	26					12	2	1	3	46
2～4		3	15					5			1	24
4～6		2	26			1		9			3	41
6～8			39			1	4	3	8	1	7	63
8～10		2	73		1		2	7	30		18	133
10～12		2	75		1	3	5	5	49	3	24	167
12～14		6	66		2	6	2	8	24	1	30	145
14～16		5	75		6	7	8	8	29		21	159
16～18		1	93		1	3	7	15	32	1	27	180
18～20		3	67			3		16	18		19	126
20～22		5	68				2	17	13		13	118
22～24		1	47			2		21	2		6	79
合計		32	670		11	26	30	126	207	7	172	1,281

7. 水利現況

平成6年1月1日現在

区分	町別	牛窓町	邑久町	長船町	計
消 火 栓	75 mm	59	151	134	344
	100 mm	41	88	74	203
	125 mm	2		2	4
	150 mm	47	58	57	162
	200 mm 以上	31	47	8	86
	計	180	344	275	799
防 水 火 槽	20 m ³	5	4	10	19
	40 m ³ 以上	13	22	14	49
そ の 他	プー ル	5	5	4	14
	接 岸（海）	5	3	0	8

8. 火災概況

1.	出火件数	8	件
2.	焼損棟数	7	棟
3.	り災世帯数	7	世帯
4.	り災人員	15	人
5.	死者	1	人
6.	負傷者	4	人
7.	建物焼損面積	955	m ²
8.	林野焼損面積	20.7	ha
9.	損害額	62,547	千円
10.	1日平均出火件数	0.02	件
	“り災人員	0.04	人
	“り災世帯	0.02	世帯
	“損害額	171	千円
11.	建物火災1件当りの焼損面積	239	m ²
12.	火災1件当りの損害額	7,818	千円
13.	住民1人当りの損害額	1,576	円
14.	1世帯当りの損害額	5,392	円
15.	出火率	2.0	

平成6年1月1日現在

人口	39,691	人
世帯数	11,595	世帯

9. 平成2・3・4・5年火災発生比較

区 分	年 別	2 年	3 年	4 年	5 年
火 災 件 数		19	17	11	8
	建 物	12	11	7	4
	林 野	2	0	0	2
	車 両	2	2	3	1
	そ の 他	3	4	1	1
焼 損 棟 数		14	18	15	7
	全 焼	4	3	8	6
	半 焼	0	4	3	0
	部 分 焼	10	11	4	1
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	770	484	1,130	955
	林 野 (a)	6	0	0	2,070
り 災 世 帯 数		12	11	8	7
り 災 人 員		39	48	29	15
死 者		1	1	1	1
負 傷 者		7	2	1	4
損 害 額 (千円)		64,368	89,963	158,240	62,547
	建 物	63,781	80,434	154,512	59,281
	林 野	5	0	0	3,166
	車 両	502	8,454	1,046	100
	そ の 他	80	1,075	2,682	0

10. 月別町別火災種別件数・損害額

(損害額の単位 千円)

町別	種別	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	損害額
牛 窓 町	建 物														
	林 野														
	車 両														
	その他														
	計														
邑 久 町	建 物	2								1				1	4,544
	林 野	1		1											16
	車 両	1	1												100
	その他	1				1									
	計	5	1	1		1				1				1	4,660
長 船 町	建 物	2	1			1									54,737
	林 野	1		1											3,150
	車 両														
	その他														
	計	3	1	1		1									57,887
合 計	建 物	4	1			1				1				1	59,281
	林 野	2		2											3,166
	車 両	1	1												100
	その他	1				1									
	計	8	2	2		2				1				1	62,547

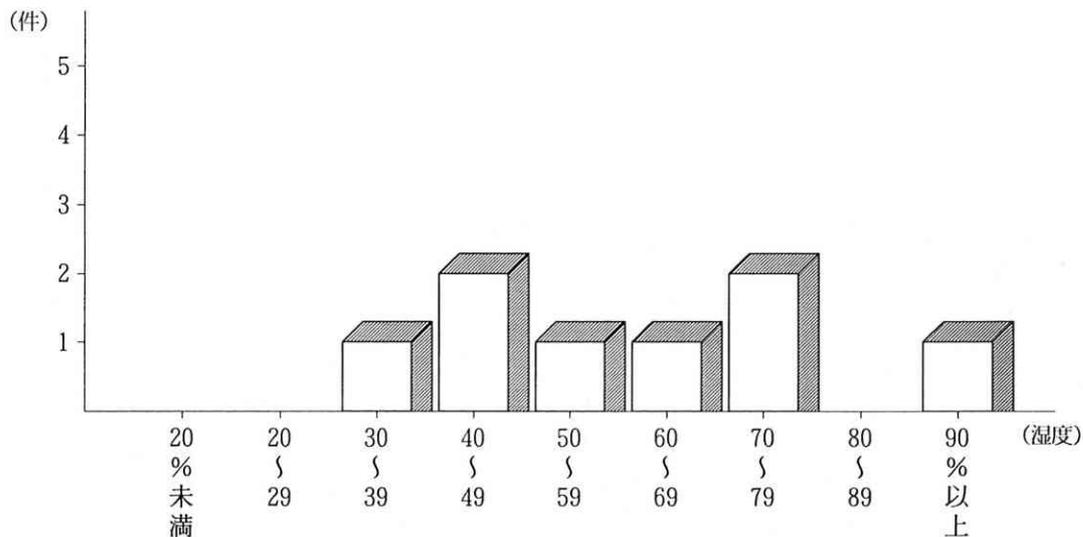
11. 火災の覚知別件数

区 分	1 1 9 番	加 入 電 話	駆 付 け 通 報	事 後 聞 知	そ の 他
件 数	5	2		1	
合 計	8				

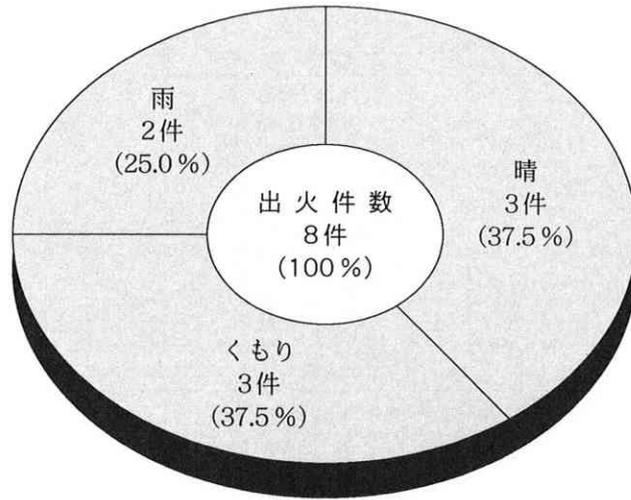
12. 出火原因別火災発生状況

種 別	発 火 源	経 過	着 火 物
建 物 (4件)	オフセット輪転機	保守点検清掃不良	粉 塵
	タ イ ヤ	摩擦により発熱する	タ イ ヤ
	合成ゴム (高温体)	摩擦により発熱する	ゴムローラーの切削粉
	調 査 中	調 査 中	調 査 中
林 野 (2件)	た き び	消したはずのものが再燃する	落 葉
	た き び	飛 び 火	落 葉
車 両 (1件)	マッチ又はライター	放 火	油
そ の 他 (1件)	調 査 中	放 火 の 疑 い	枯 草

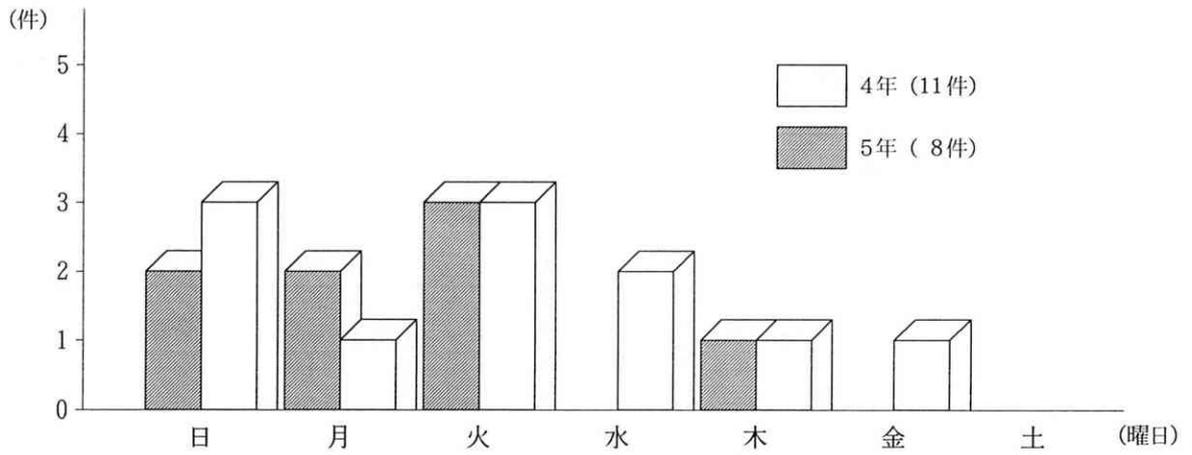
13. 湿度と出火件数



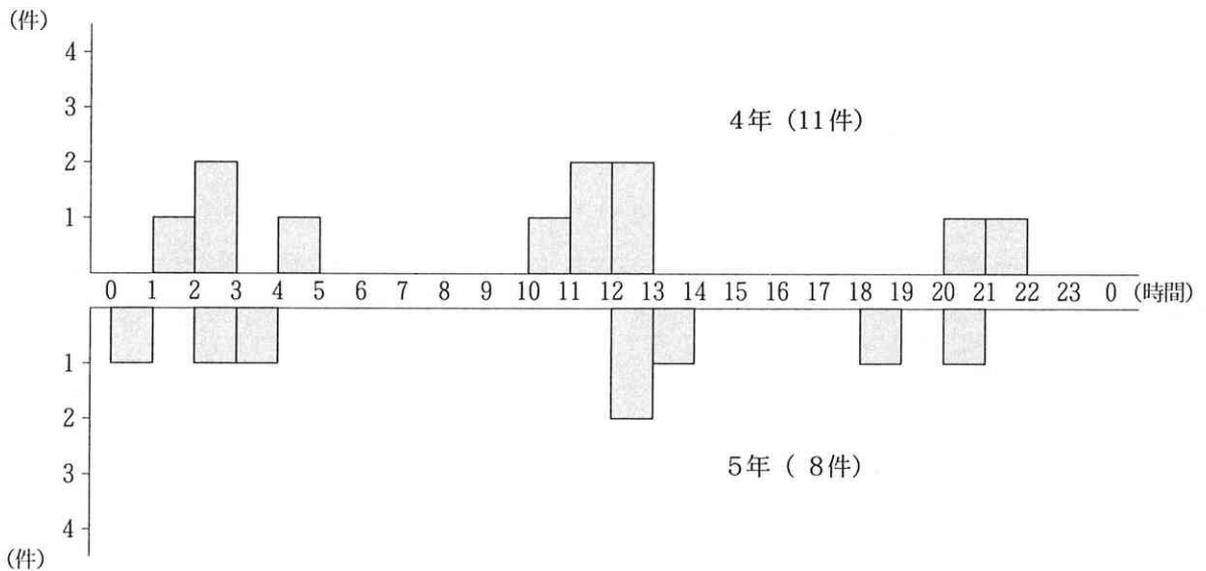
14. 天候と出火件数



15. 曜日別出火件数



16. 時間別出火件数



17. 火災放水状況

出 動	火災の種別 水利の状況		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	計						
	件 数		4	2	1		1	8						
	人 員		53	66	15		6	140						
総 数	台 数	化 学 車	2	17	7	19	1	5	1	2	4	43		
		ポ ン プ 車	10				3				20			
		可 搬 積 載 車												
		そ の 他	5				12				1		1	19
放 水	件 数		3	2	1		1	7						
	人 員		50	66	15		6	137						
	台 数	化 学 車	2	16	7	19	5	1	2	1	2	4	42	
		ポ ン プ 車	10									3		20
		可 搬 積 載 車												
		そ の 他	4									12		1
	口数 (中継+放水)		12	8	1		1	22						
	主 と し て 使 用 し た 水 利	消 火 栓		2	1				3					
		私 設 消 火 栓												
		防 火 水 槽												
プ ー ル														
河 川 ・ 溝 等		1		1			2							
濠 ・ 池 等			1				1							
海 ・ 湖														
井 戸														
そ の 他						1	1							
無 放 水 火 災	件 数		1					1						
	人 員		3					3						
	台 数	化 学 車		1								1		
		ポ ン プ 車												
		可 搬 積 載 車												
そ の 他		1						1						

18. 火災防ぎょにおける水利使用状況

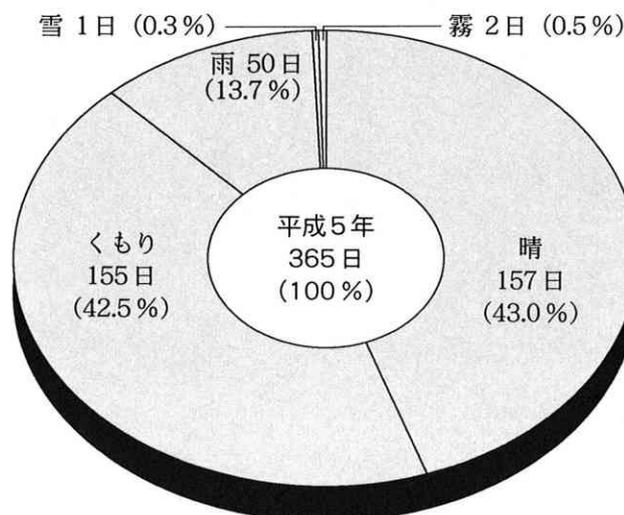
種 別	消 火 栓	施 設 消 火 栓	防 火 水 槽	プ ー ル	河 川 ・ 溝 等	濠 ・ 池 等	海 ・ 湖	井 戸	そ の 他	計
件 数	3				2	1			1	7
%	42.8				28.6	14.3			14.3	100

19. 月別気象状況

区分		月別												備考	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
気 温 ℃	平均気温	4.7	5.1	6.8	13.5	18.0	22.4	24.5	25.5	21.7	15.9	11.8	5.8	年平均	14.6
	最高気温	9.0	11.6	12.7	20.0	23.2	24.5	29.6	27.7	26.8	18.7	14.9	13.0	年最高	29.6
	最低気温	1.7	1.5	2.9	6.3	13.8	18.7	20.7	23.0	19.6	12.8	4.5	0.6	最低	0.6
湿 度 %	平均湿度	75	69	59	58	67	75	81	77	80	70	76	72	平均	72
	最低湿度	52	56	45	33	48	54	65	65	65	51	59	43	最低	33
天 候	晴天日数	14	17	19	17	11	10	8	11	8	15	7	20	157	43.0
	曇天日数	12	7	10	10	16	14	19	13	16	14	18	6	155	42.5
	降雨日数	4	3	2	3	4	6	4	7	6	2	5	4	50	13.7
	霧日数	1											1	2	0.5
	雪日数		1											1	0.3
風 向 風 速	平均風速	1.7	1.9	2.1	2.5	2.1	2.0	2.0	1.8	1.4	1.4	1.6	1.8	年平均	1.9
	最高風速	5.6	6.7	7.6	8.8	7.3	6.4	4.2	8.6	3.5	3.9	4.4	5.9	年最高	8.8
	最多風向	WSW	WSW W	W	WSW	ENE	ESE	ENE	ENE	ENE	SW	N	NNE	年最多	ENE

※ 調査時刻 AM 9:00

20. 天候図



警 防

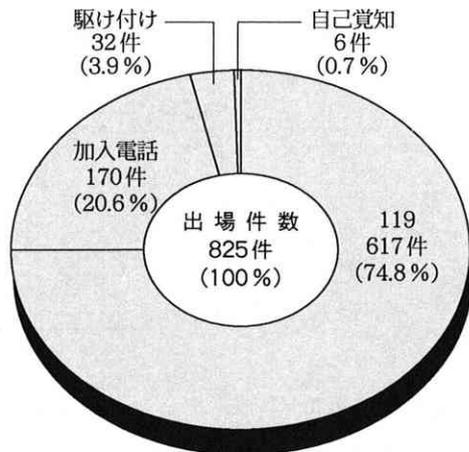
救急・救助



1. 救急概況

平成4年		平成5年
797件	1. 出場件数	825件
0件 (0%)	火災	2件 (0.2%)
0件 (0%)	自然災害	0件 (0%)
0件 (0%)	水難	3件 (0.4%)
191件 (24.0%)	交通	208件 (25.2%)
22件 (2.8%)	労働災害	32件 (3.9%)
10件 (1.3%)	運動競技	7件 (0.8%)
108件 (13.5%)	一般負傷	96件 (11.6%)
7件 (0.9%)	加害	3件 (0.4%)
6件 (0.7%)	自損行為	5件 (0.6%)
397件 (49.8%)	急病	405件 (49.1%)
56件 (7.0%)	その他	64件 (7.8%)
751件	2. 傷病者搬送件数	781件
802人	3. 搬送人員	832人
472人 (58.9%)	男	497人 (59.7%)
330人 (41.1%)	女	335人 (40.3%)
12月	4. 出場件数の多い月	7月
水曜日	5. 出場件数の多い曜日	日曜日
8~10時	6. 出場件数の多い時間帯	16~18時
7件	7. 1日の最多出場件数	7件
0件	8. 1日の最少出場件数	0件
2.18件	9. 1日当たりの平均出場件数	2.26件
2.19人	10. 1日当たりの平均搬送人員	2.28人
1.32回	11. 1件当たりの医療機関問合わせ回数	1.20回
49.4人に1人	12. 人口に対する搬送人員	47.7人に1人
平成5年1月1日現在		平成6年1月1日現在
人口 39,630 人		人口 39,691 人
世帯数 11,455 世帯		世帯数 11,595 世帯

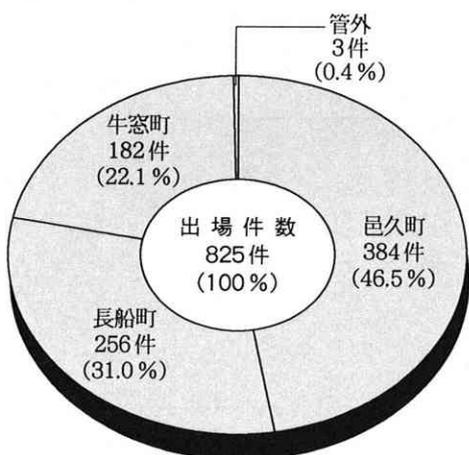
2. 覚知別出場件数



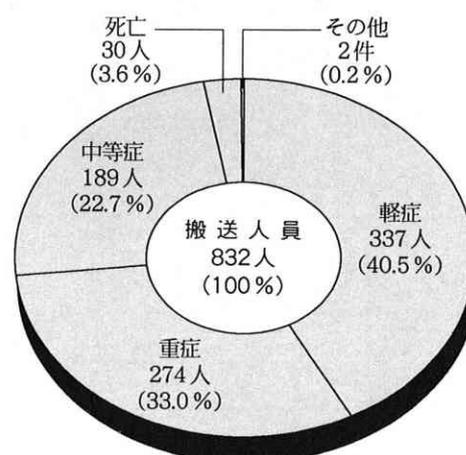
3. 時間別出場件数

時刻区分	件数	時刻区分	件数
0 ~ 2	38	12 ~ 14	84
2 ~ 4	26	14 ~ 16	92
4 ~ 6	28	16 ~ 18	110
6 ~ 8	45	18 ~ 20	83
8 ~ 10	90	20 ~ 22	74
10 ~ 12	97	22 ~ 24	58

4. 町別出動件数



5. 傷病程度別救急活動状況



6. 年齢区分別傷病程度の状況

傷病程度	年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	計
死亡			1		11	18	30
重症			1	9	94	170	274
中等症			8	9	100	72	189
軽症			36	31	208	62	337
その他			1		1		2
計			47	49	414	322	832

7. 曜日別月別救急出場件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
曜日別	月	1			32	3		19		1	59	7				122
	火	1			27	4	1	12		2	54	9				110
	水			1	31	4		10			60	8				114
	木				22	6		9	1	1	50	10				99
	金				36	6		13	2		60	12				129
	土			1	28	6		14			57	9			2	117
	日			1	32	3	6	19		1	65	7				134
計		2		3	208	32	7	96	3	5	405	62			2	825
月別	1月	1			15		1	9	1	1	33	6				67
	2月	1			23	3		4		1	33	5				70
	3月				10	2		8	1		31	6				58
	4月				17	5		5		1	24	4				56
	5月				18	2	1	10			41	1				73
	6月				18	1		8		1	37	7			1	73
	7月			1	27	4	1	7	1	1	39	7				88
	8月			1	15	3		8			39	4				70
	9月				11			13			35	4			1	64
	10月				20	3	4	5			35	7				74
	11月				13	3		7			24	4				51
	12月			1	21	6		12			34	7				81

8. 救急出場時における各距離及び各所要時間

出場から現場までの距離及び時間
 平均距離 3.7 km
 平均時間 5.0 分

現場から病院までの距離及び時間
 平均距離 10.2 km
 平均時間 12.2 分

出場から帰署までの距離及び時間
 平均距離 23.9 km
 平均時間 39.0 分

現場滞在時間
 約 5.2 分

9. 収容所要時間別搬送人員状況

事故種別 \ 時間 (分)	10未満	10~20	20~30	30~60	60~120	120以上	計
火 災				3			3
水 難				2			2
交 通	12	111	76	31	1		231
労 働 災 害		10	16	6	2		34
運 動 競 技		2	4	1			7
一 般 負 傷	9	31	36	16			92
加 害		1	1				2
自 損 行 為		1	2	2			5
急 病	20	170	118	85	1		394
そ の 他	1	7	22	32			62
計	42	333	275	178	4		832

10. 事故別応急処置状況

事故種別	搬送人員	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	その他	計
急 病	394	295		1		12	140	44	220	4	66	487
交 通 事 故	231	152	1	29		3	18	7	41	88	20	207
一 般 負 傷	92	75	3	21		1	7	5	17	35	12	101
上 記 以 外	115	87	2	22		6	28	7	29	20	13	127
計	832	609	6	73		22	193	63	307	147	111	922

11. 医療機関別搬送人員

区 分	医 療 機 関															その 他の 場所	合 計
	救急告示医療機関					その他の医療機関					計						
	国 公 立	公 的	私 的 病 院	私 的 診 療 所	計	国 公 立	公 的	私 的 病 院	私 的 診 療 所	計	国 公 立	公 的	私 的 病 院	私 的 診 療 所	計		
人員	(73) 342	(43) 43	(286) 286	(1) 1	(413) 672	() 	() 	(65) 65	(3) 95	(68) 160	(73) 342	(43) 43	(351) 351	(4) 96	(471) 832	() 	(471) 832
割 合 (%)	100																100
	80.8					19.2					100						
	50.9	6.4	42.6	0.1	100			40.6	59.4	100	41.1	5.2	42.2	11.5	100		

注 () 内は、当管外の医療機関に収容した人数。

12. 管内管外別搬送人員

事故種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
管内に住所を 有する者	3		2	138	16	2	80	2	4	348	56	651
管外に住所を 有する者				93	18	5	12		1	46	6	181
そ の 他												
計	3		2	231	34	7	92	2	5	394	62	832

13. 発生場所別搬送人員

事故種別 発生場所	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計
急 病	299	61	7	19	8	394
交 通		1		210	20	231
一 般 負 傷	54	13	3	8	14	92
そ の 他	11	71	30		3	115
計	364	146	40	237	45	832

14. 救 助 概 況

区分 事故種別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 人 員			出 動 車 両				
				計	兼 任 救 助 隊 員	救 急 隊 員	計	照 明 救 助 工 作 車	化 学 車	救 急 車	そ の 他 の 場 所
合 計	16	9	9	106	52	54	35	16	1	18	
交 通 事 故	14	9	9	94	46	48	31	14	1	16	
火 災											
水 難 事 故	1			6	3	3	2	1		1	
機 械 による 事 故	1			6	3	3	2	1		1	
そ の 他 の 事 故											

15. 救助活動状況

No.	発生日	場 所	事故種別	救助 人員	内 容
1	1月11日	長船町八日市 備前大橋東詰 交差点	交通事故	1	大型トラックと普通乗用車の追突事故。 普通乗用車の運転手が下腿をボディに挟まれていた。乗用車の両側フロントピラーにワイヤーを掛け、救助工作車及びトレーラーで牽引し車内を掘り救出する。 使用器材（ワイヤーロープ）
2	4月12日	長船町八日市 備前大橋東詰 国道2号線	交通事故	1	普通乗用車同士の正面衝突事故。 一方の運転手が左足首を挟まれていた。運転席側のピラー及びドアを油圧カッターで切断し、足元を油圧スプレッダーで拡張し救出する。 使用器材（油圧カッター、油圧スプレッダー、ワイヤーロープ）
3	7月12日	備前市鶴海 ブルーライン 23.9km 地点	交通事故	1	大型トラックと普通乗用車の衝突事故。 普通乗用車の運転手が、原形を止めないほど大破した車の中に閉じ込められていた。フロントピラー及びドアヒンジを油圧カッターで切断し救出する。 使用器材（油圧カッター）
4	7月14日	牛窓町牛窓 師楽三叉路西 約30m 県道上	交通事故	1	普通ライトバンとジープ（4WD）の正面衝突事故。 普通ライトバンの運転手が両下腿を挟まれていた。油圧カッターでドアヒンジを切断し、普通ライトバンの前後をワイヤーで牽引して運転席を油圧スプレッダーで掘り救出する。 使用器材（油圧カッター、油圧スプレッダー、ワイヤーロープ、バール）
5	7月25日	邑久町尻海 ブルーライン 14.3km 地点	交通事故	1	普通トラック（保冷車）の単独事故。 車は運転席側を下にして横転し、運転手は車体と道路（地面）に挟まれていた。油圧カッターでドアヒンジ及びピラーを切断して救出する。 使用器材（油圧カッター、バール）
6	9月8日	牛窓町鹿忍 木串池東県道上	交通事故	1	普通トラック（2t）と軽四貨物自動車の正面衝突事故。 軽四貨物自動車の運転手がダッシュボードで下腿を挟まれていた。バールでダッシュボードをこじ開けて救出する。 使用器材（バール）
7	9月8日	長船町八日市 備前大橋東詰 国道2号線	交通事故	1	大型トラックと普通乗用車の正面衝突事故。 普通乗用車の運転手が、ハンドル部分で右大腿部を挟まれていた。油圧カッターでハンドルの下半分を切断し、バールでハンドルの残り部分を持ち上げて救出する。 使用器材（油圧カッター、バール）
8	12月2日	邑久町豆田323 （四軒屋） 南県道	交通事故	1	普通乗用車と軽四乗用車の衝突事故。 普通乗用車の運転手が、車内に閉じ込められていた。バールでドアをこじ開けて救出する。 使用器材（バール）
9	12月2日	邑久町虫明 ブルーライン虫 明料金所西本線 出入口三叉路	交通事故	1	大型トラックと普通乗用車の正面衝突事故。 普通乗用車の運転手が、車内に閉じ込められていた。車両後部を救助工作車で固定して、前部を大型トラックで牽引し運転席を掘り救出する。 使用器材（ワイヤーロープ）

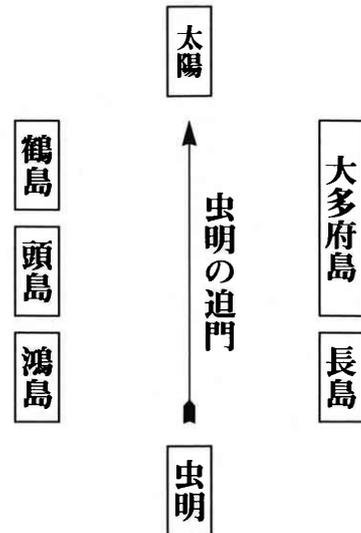
巻頭ページ写真の説明

虫明迫門(瀬戸)の曙について

二百十日(9月1日)前後に右記島々の中央から昇る日の出を虫明迫門の曙といい古く平安時代に「虫明の浜に立ちて遙に東天を望まんか、島藍色に、その間たゞ一抹バラ色の光あり、バラ色は桃色に、桃色は金波となり濃厚に、旭日水平線に浮かぶ峡間は、さながら金橋を架したるが如く、漸く昇りて海面を離る、や台上閑かに金玉を載せたるが如し又伊勢の二見浦の曙と並べ称せらる壯観なり」と歌われております。

代表的な歌として

虫明の迫門の曙見る折りぞ
都のこともわすれにけり (玉葉集)
平 忠盛



あとがき

邑久消防組合発足20周年を迎え、この間の足跡を辿り写真を中心に「20年のあゆみ」と題して編集を進めました。

いざ編集となると記録に乏しく、大切な諸行事等の資料が不足しており、満足できる内容には至りませんでした。が、構成町及び関係各位のご協力により発刊することができましたことに対し、心から感謝申し上げます。

編集委員一同

表紙写真説明：福岡の市

国宝「一遍上人絵伝・福岡の市」
歎喜光寺・清浄寺蔵

鎌倉時代頃から吉井川流域の福岡の荘（岡山市上道地区の一部から邑久郡長船町・邑久町の一部）では定期市が行われていました。

掘立ての長屋で魚や鳥・米・布・履物・壺など様々な品物が売られています。法被姿の女や市女笠の女、中世の市の様子や風俗を知る貴重な資料となっています。

20th HISTORY OF OKU FIRE STATION



邑久消防20年のあゆみ

発行日：平成7年3月25日

編集・発行：邑久消防組合消防本部

〒701-42 岡山県邑久郡邑久町本庄1795

TEL 08692-2-1333

印刷：石井印刷有限会社